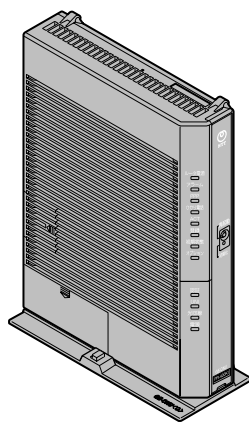
PR-400KI

取扱説明書

このたびは、PR-400KIをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ !	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

⚠記号は、注意事項を示しています。

注　意

発火注意

レーザ光注意

感電注意

⃠記号は、してはいけない内容を示しています。

禁　止

火気禁止

風呂等での使用禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。

電源プラグを抜け

ご使用にあたって

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の光ファイバ導入部分は当社の設備となります。通常のメンテナンスや調整などは不要です。普段はお手を触れないようお願いします。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

【返却される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

⚠ 警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、USB ケーブルのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグ、USB ケーブルに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**

● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、USB ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

● **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。**
本商品に無線 LAN カードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、USB ポートをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですからおやめください。

警　告

● **水が装置内部に入った場合**
万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合**
本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● **異物が装置内部に入った場合**
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **破損した場合**
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源アダプタの取り扱い注意**
付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源アダプタの設置の注意**
電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。
電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 警　告

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● **電源コードの取り扱い注意**
付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止事項

● **延長コード利用の禁止**
電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

● **たこ足配線の禁止**
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100 ± 10V（50/60Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が２つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

● **分解改造の禁止**
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警　告

- **ぬらすことの禁止**
  本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、USB ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
  また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

- **ぬれた手での操作禁止**
  ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、USB ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

- **本商品はレーザを使用しています。光ファイバの先端や光コネクタ接続部をのぞき込まないようにご注意ください。本商品はクラス 1 レーザ製品です。**

- **本商品の蓋を開けて内部の光ファイバに触れたり、コネクタから光ファイバを取り外したりしないでください。レーザ光源によるけが、装置故障の原因となることがあります。**

その他のご注意

- **異物を入れないための注意**
  本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- **本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。**
  重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警　告

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠ 注　意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本商品やケーブル、モジュラージャックや電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上)、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **温度の低い場所への設置禁止**
本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

● **湿度の高い場所への設置禁止**
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度80％以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注　意

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **本商品を逆さまに置かないでください。**

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
・毛布や布団をかぶせる

● **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

● **屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**

● **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**

● **本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。**

⚠注　意

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● **お客様ご自身で本商品の蓋を開けないでください。万一蓋が開いてしまった場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。光ファイバ破損の恐れがあります。**

● **光ファイバケーブルなどのケーブル類を「引っ張る、束ねる、無理に折り曲げるまたは加工する」ことはしないでください。また光ファイバケーブルなどのケーブル類の上に物を載せないでください。ケーブルの損傷、装置故障の恐れがあります。**

● **運用中、本商品は発熱しますので、本商品には長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。**

● **光ファイバケーブルなどのケーブル類、電源コードにひっかからないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。**

電源

● **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

● **本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上あけてから差し込んでください。**

⚠ 注　意

● **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

● **拡張カードスロットの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および装着したカードが故障することがあります。**

その他のご注意

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、光ファイバケーブル以外の外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
故障の原因となる場合がありますので、光ファイバ導入部分はお手を触れないようにお願いします。

● **雷のときの注意**
落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**

● **本書にしたがって接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

● **本商品の光ファイバ導入部分操作は専門の作業者が行うようにしてください。**
装置故障の恐れがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
  - ・盗難防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品は、縦置きの場合は縦置き／壁掛け兼用スタンドを取り付けて設置してください。また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用して、縦置き／壁掛け兼用スタンドの底面が壁側になるように固定し、本商品の背面が下になるように設置してください。
  転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品・ AV ・ OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1 m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

お願い

- 本商品の隙間から虫（ゴキブリなど）が入ると、故障の原因となることがあります。
  - ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中（特にデータ設定中）に、再起動スイッチを押下されたり、ケーブル類が外れたり、接続が不安定になると、誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、再起動スイッチのむやみな押下や、コネクタの接続部に触れることは絶対にしないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
  ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
  ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響をおよぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができません。
- ひかり電話に対応したIP端末で外線通話中は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えません。
ひかり電話使用終了後、一定時間たってから設定を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後、一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- 「Web設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応したIP端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。

- 「Web 設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応したIP 端末やパソコンなどの通信が切断される場合があります。LAN 側の設定や無線設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。
- 本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
- 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯にあわせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については、本書の第 6 章「本商品のバージョンアップ」よりご確認ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
  ・ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。
  ・ファームウェアの更新中（約 1 分程度）は、ひかり電話がご利用になれません。緊急通報などもご利用になれませんのでご注意ください。
  ・ファームウェアの更新中（約 1 分程度）は、すべての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますので、ご注意ください。
  ・ファームウェアの自動更新が実行されると、再起動し、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を返却される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 1Gbps（規格値）や最大 100Mbps（規格値）は 1000BASE-T や 100BASE-TX の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度（実効値）を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 300Mbps（規格値）や最大 54Mbps（規格値）、最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の無線の暗号化が「暗号化なし」「WPA-PSK(AES)」または「WPA2-PSK(AES)」（推奨）に設定する必要があります。

電波に関するご注意（SC-40NE 装着時にお読みください）

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品（*）は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。
この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 本商品（*）は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - ・異なる階の部屋同士
- 本商品（*）と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品（*）をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- IEEE802.11b/IEEE802.11g/IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11g を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- 本商品（*）は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本商品（*）を分解／改造すること
- 本商品（*）は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品（*）は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、想定干渉距離は 40m です。

本商品（*）に表示した 2.4 DS/OF 4 ▬ ▬ ▬ は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品（*）」はここでは、SC-40NE 装着時を示します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意（SC-40NE装着時にお読みください）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、不正にひかり電話を利用する（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、「お客様サポートのご案内」（☛ 裏表紙）記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

４章　インターネット接続の設定をする

５章　無線LANのご利用について

「機能詳細ガイド」目次

付属の「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、25 ページをご覧ください。

※フレッツ 光ネクストサービス情報サイト（NTT 東日本）／フレッツ 光ネクストサービス情報サイト（NTT 西日本）を提供しています。（2011 年２月現在）

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

- ●最初にお読みください
  本商品の接続、ひかり電話を使えるようにするまでの手順をわかりやすく説明しています。
- ●取扱説明書（本書）
  本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- ●機能詳細ガイド（ CD-ROM ：HTML ファイル）
  本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、インターネットに接続するまでの流れは、下記のようになります。
無線 LAN を利用する場合は「5 章　無線 LAN のご利用について」を参照してください。

付属品の確認をします
「1-1　セットを確認してください」

▼

取り付けます
「2 章　本商品を設置する」

▼

ひかり電話を利用します
「3 章　ひかり電話の使いかた」

▼

インターネットに接続します
「4 章　インターネット接続の設定をする」

▼

無線 LAN の設定をします
「5 章　無線 LAN のご利用について」

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。
※本書での ! の記載は、設定中などに特に確認していただきたい注意事項です。
※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた

1 「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」をパソコンにセットする

2 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

■ CD-ROM の取扱上・保管上の注意

- ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
- ●ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
- ●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
- ●ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
- ●直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
- ●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XPはオペレーティングシステムです。
Internet Explorer®は、米国Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Myriad and Jbed are trademarks or registered trademarks of Myriad Group AG.
本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Living Connectを搭載しています。
ACCESS、NetFront、IrFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「CloudRunnerDroid」は、株式会社イーフローの商標または登録商標です。

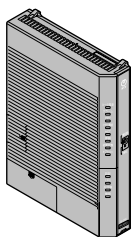
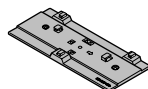
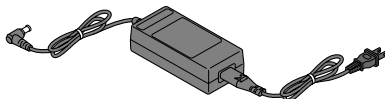
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品の「PR-400KI機能詳細ガイドCD-ROM」は日本語版OS以外の動作保証はしていません。
付属品の「PR-400KI機能詳細ガイドCD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。
また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

1 最初に確認する

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

1-1 セットを確認してください

PR-400KI/GE-ONU の場合

■本体

PR-400KI/GE-ONU（1 台）

縦置き／壁掛け兼用スタンド（1 台）
※当社工事により取り付け済みの場合があります。

■付属品

LAN ケーブル（1 本／約 2m ／緑色）

電源アダプタ（1 式）
※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

取扱説明書
（本書 1 冊）

最初にお読みください
（1 枚）

PR-400KI
機能詳細ガイド CD-ROM（1 枚）

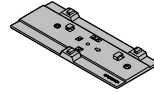
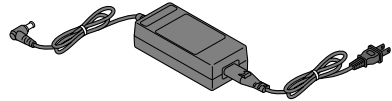
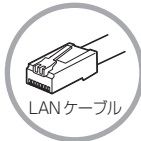
壁掛け設置用ネジ
（2 個）

GE-PON 型「」
E 光加入者線終端装置タイプ G
ユーザマニュアル（1 部）

- ●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●イラストと形状が異なる場合があります。
- ●GE-PON 型「」E 光加入者線終端装置タイプ G ユーザマニュアルは、ひかり電話機能/ルータ機能を利用せず、ONU 機能のみをご利用になる場合に、参照してください。

PR-400KI/GV-ONU の場合

■本体

PR-400KI/GV-ONU（1 台）
※本書では、PR-400KI/GE-ONU の場合を例にして、説明しています。PR-400KI/GV-ONU の場合も設定手順などは同じです。

縦置き／壁掛け兼用スタンド（1 台）
※当社工事により取り付け済みの場合があります。

■付属品

LAN ケーブル（1 本／約 2m ／緑色）

電源アダプタ（1 式）
※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

取扱説明書
（本書 1 冊）

最初にお読みください
（1 枚）

PR-400KI
機能詳細ガイド CD-ROM（1 枚）

壁掛け設置用ネジ
（2 個）

SCM-GE-PON 形「」
C 光加入者線終端装置タイプ G
ユーザマニュアル（1 部）

- ●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●イラストと形状が異なる場合があります。
- ●SCM-GE-PON 形「」C 光加入者線終端装置タイプ G ユーザマニュアルは、ひかり電話機能/ルータ機能を利用せず、ONU 機能のみをご利用になる場合に、参照してください。

■お客様にご用意いただくもの

<ひかり電話のご利用に必要なもの>

●電話機

●開通のご案内

※電話機の電話回線ダイヤル種別は「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「㊍」や「⊞」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。

※ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用できません。

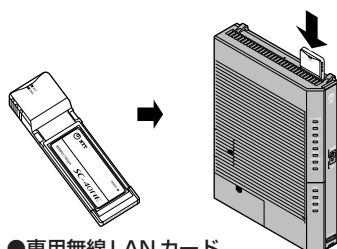
※電話機コードもご準備ください。

<インターネット接続および、設定変更に必要なもの>

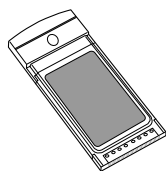
● LANポートを持ったパソコン

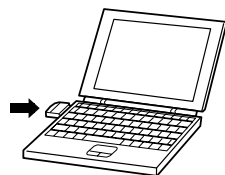
●プロバイダの設定情報

<パソコンとの無線LAN接続に必要なもの>

[本商品側に必要なもの]

●専用無線LANカード
（SC-40NE）※1

※本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

[パソコンで無線LANカードご利用時に必要なもの]

●専用無線LANカード
（SC-32KIまたはSC-32HI、
SC-32NE、SC-32SE）※2 ※3

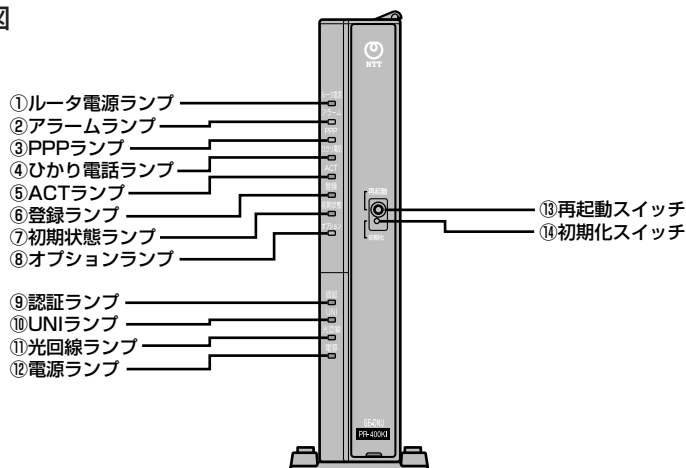
●専用CD-ROM
（SC-32KIまたはSC-32HI、
SC-32NE、SC-32SE）※4

● CardBus対応の
PCカードスロットを
持ったパソコン

※1　専用無線LANカード（SC-40NE）は、「IEEE802.11b/g/n互換」「IEEE802.11b/g互換」に対応しています。本商品では、IEEE802.11aはご利用できません。
※2　無線LAN端末として使用するパソコンなどに装着して使用します。OSは、Windows® 7 32ビット（x86）版、Windows Vista®（SP1）32ビット（x86）版、Windows Vista®（SP2）32ビット（x86）版、Windows® XP（SP3）32ビット（x86）版に対応しています。64ビット（x64）版OS、Mac OSには対応しておりません。
※3　専用無線LANカード（SC-32KIまたはSC-32HI、SC-32NE、SC-32SE）は、IEEE802.11b/g（2.4GHz帯域）、IEEE802.11a（W52）に対応しています。本商品では、IEEE802.11aはご利用できません。
※4　最新のプログラムは「フレッツ簡単セットアップツール」にて取得してください。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

PR-400KI/GE-ONU の場合

●前面図

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① ルータ電源ランプ	−	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示については 1-8ページを参照してください。	−	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※ 1 （「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
		点滅 （最大 10 秒間）	USB ポートの異常を検出しました。
③ PPP ランプ	−	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	−	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	−	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示については 1-8ページを参照してください。	−	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定に失敗しました。（認証エラー）
		点滅	ひかり電話の設定に失敗しました。（その他のエラー）

ランプの名称	表示（色）		状態
⑦ 初期状態ランプ	ー	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※１※２
		点滅	IP アドレスが重複しています。 （「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-9 ページ）を参照してください。）
⑧オプションランプ	青	３回点滅→ ２秒点灯	USB ポートに機器が接続されました。
	緑	点灯	ONU 機能のみが有効です。
⑨認証ランプ	ー	消灯	装置運用準備中または装置故障です。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
	緑	点灯	正常な状態です。
⑩ UNI ランプ	ー	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑪光回線ランプ	ー	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。※３
⑫電源ランプ	ー	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。※３

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
⑬再起動スイッチ	再起動	本装置を再起動するときに使用します。
⑭初期化スイッチ	初期化	本装置内部の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。

※　節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

※１　ルータ機能のファームウェアの更新中（手動またはファイル指定）はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプ橙点灯します。（本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。）

※２　本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと、初期状態ランプは消灯します。ひかり電話ご利用時は、初期状態ランプは消灯します。

※３　ONU 機能のファームウェアのダウンロードに関しては、お客様に操作いただくことはございません。

【「無線LAN簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線LAN簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線LAN簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（10秒間）	「無線LAN簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（10秒間）	「無線LAN簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① 100/1000 BASE-T ランプ（4 個）	ー	消灯	ー
	橙	点灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ（4 個）	ー	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	ー	無線 LAN カード（SC-40NE）を装着します。（☛5-4 ページ）
④ らくらくスタートボタン	らくらく スタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑤ USB ポート	ー	USB 機器を接続するためのポートです。
⑥ LAN ポート	LAN1 ～ LAN4	LAN ケーブル（付属品など）を使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑦ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。（電話機コードは付属していません。）
⑧ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑨ 電源アダプタ端子	DC IN	付属の電源アダプタのコードを差し込みます。
⑩ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。お客様は光ファイバ導入部分に触れないでください。

本商品各部の名前および機能を説明します。

PR-400KI/GV-ONU の場合

●前面図

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① ルータ電源ランプ	ー	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示については 1-12 ページを参照してください。	ー	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※ 1 (「7 章　故障かな？と思ったら」(☛7-3 ページ）を参照してください。)
		点滅 (最大 10 秒間)	USB ポートの異常を検出しました。
③ PPP ランプ	ー	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	ー	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	ー	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示については 1-12 ページを参照してください。	ー	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定に失敗しました。(認証エラー)
		点滅	ひかり電話の設定に失敗しました。(その他のエラー)

ランプの名称	表示（色）		状態
⑦ 初期状態ランプ	ー	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※１※２
		点滅	IP アドレスが重複しています。 （「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-9 ページ）を参照してください。）
⑧オプションランプ	青	３回点滅→ ２秒点灯	USB ポートに機器が接続されました。
	緑	点灯	ONU 機能のみが有効です。
⑨認証ランプ	ー	消灯	装置運用準備中または装置故障です。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
	緑	点灯	正常な状態です。
⑩ UNI ランプ	ー	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑪光回線ランプ	ー	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。※３
⑫電源ランプ	ー	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-3 ページ）を参照してください。）
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。※３
⑬映像出力ランプ	ー	消灯	映像サービスが利用できません。
	緑	点灯	映像サービスが利用できます。
	赤	点灯	映像機能故障状態です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
⑭再起動スイッチ	再起動	本装置を再起動するときに使用します。
⑮初期化スイッチ	初期化	本装置内部の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。

※　節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

※１　ルータ機能のファームウェアの更新中（手動またはファイル指定）はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプ橙点灯します。（本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。）

※２　本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと、初期状態ランプは消灯します。ひかり電話ご利用時は、初期状態ランプは消灯します。

※３　ONU 機能のファームウェアのダウンロードに関しては、お客様に操作いただくことはございません。

【「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① 100/1000 BASE-T ランプ（4 個）	ー	消灯	ー
	橙	点灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ（4 個）	ー	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 同軸ケーブルコネクタ端子	RF OUT	映像サービスをご契約の場合は同軸ケーブルが接続されます。
④ 拡張カードスロット	ー	無線 LAN カード（SC-40NE）を装着します。 （☛5-4 ページ）
⑤ らくらくスタートボタン	らくらく スタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑥ USB ポート	ー	USB 機器を接続するためのポートです。
⑦ LAN ポート	LAN1 ～ LAN4	LAN ケーブル（付属品など）を使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑧ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。（電話機コードは付属していません。）
⑨ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。 本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑩ 電源アダプタ端子	DC IN	付属の電源アダプタのコードを差し込みます。
⑪ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。 お客様は光ファイバ導入部分に触れないでください。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

● LAN ポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（1000BASE-T または 100BASE-TX）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、1000BASE-T/100BASE-TX 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書などにしたがって正しく行ってください。

● ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

● 無線 LAN をご利用になるには

本商品に装着する無線 LAN カードとして SC-40NE が必要です。

パソコンに装着する無線 LAN カードとして SC-32KI または SC-32HI、SC-32NE、SC-32SE が必要です。

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

● 本商品は下記の OS に対応しています。（2011 年 2 月現在）

・ 本商品の LAN ポートに接続する場合

Windows® 7、Windows Vista®（SP1）、Windows Vista®（SP2）、Windows® XP（SP3）および Macintosh（Mac OS X）

・ 本商品とパソコンに専用無線 LAN カードを装着して接続する場合

Windows® 7、Windows Vista®（SP1）、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版

本書では、Web ブラウザでの設定方法を説明します。
Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。（2011 年 2 月現在）
　Windows® 7 の場合
　・Internet Explorer® 8.0 に対応
　Windows Vista®（SP1）および Windows Vista®（SP2）の場合
　・Internet Explorer® 7.0 以上に対応
　Windows® XP（SP3）の場合
　・Internet Explorer® 6.0 SP2 以上に対応
　Mac OS X の場合
　・Safari 4.0.5 以上に対応
　※各 OS に準拠したブラウザをご利用ください。
　※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版の略として使用しています。
　※本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略として使用しています。

● Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。（☛4-5 ページ）

● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript」を有効にしてください。
（Windows® の場合 ☛4-6 ページ、Mac OS の場合 ☛8-6 ページ）

● ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］を選択してください。（☛4-5 ページ）

● お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行ったときに、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

● Web ブラウザの「戻る」、「進む」、「更新」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

● Mac OS で Safari をご利用の場合、「テキストのみ拡大／縮小」にチェックを入れないと正しく表示ができないことがあります。

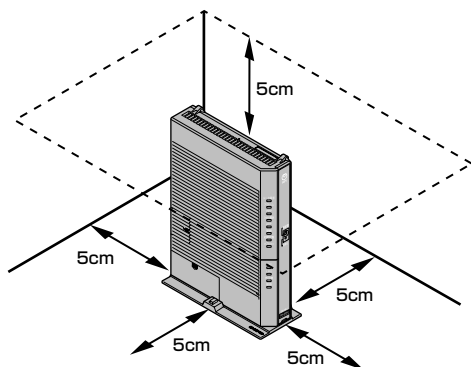
※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。

2 本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

2-1 設置・接続

本商品を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。

⚠ 注 意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫や TV など、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて縦置きにする

図のように、本商品本体に付属の縦置き／壁掛け兼用スタンドを付けて縦置きでご使用ください。
※はめ込み部の数や形状は、イラストと異なる場合があります。

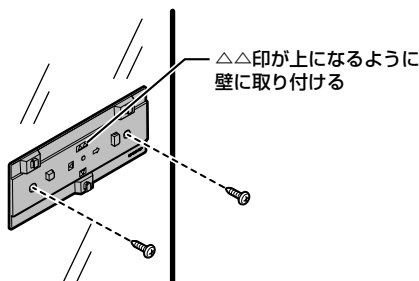
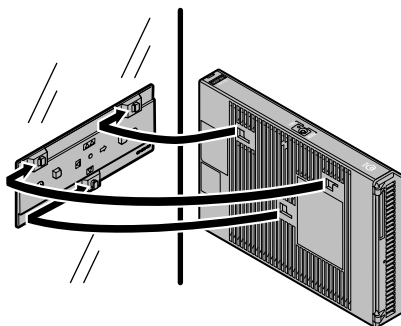
⚠ 注 意

本商品は横置きでのご使用はできません。

スタンドを用いて壁掛けにする

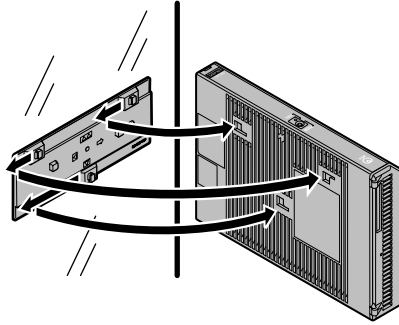
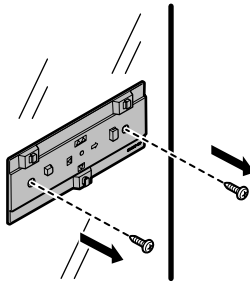
■縦置き／壁掛け兼用スタンドを取り付けて壁掛けにする場合

あらかじめ、縦置き／壁掛け兼用スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

①付属の縦置き／壁掛け兼用スタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。

②本商品を横にスライドさせて固定させます。この時、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

お願い

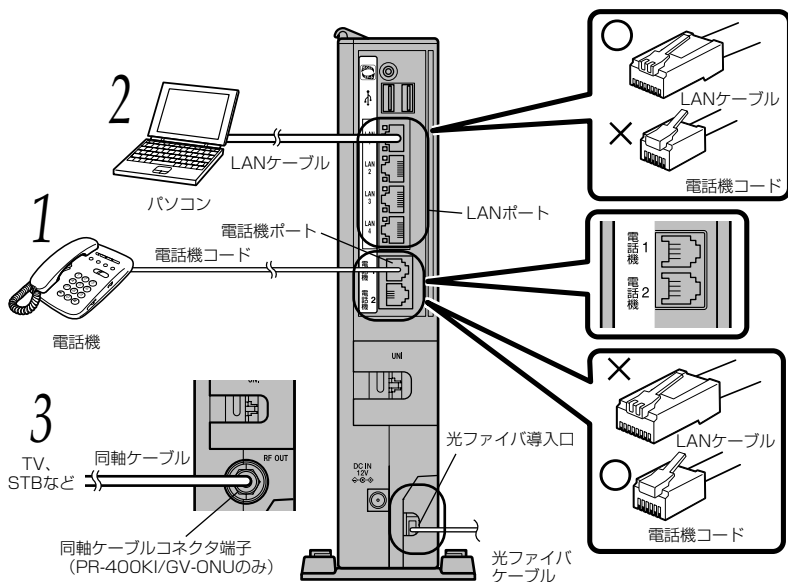
- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。(☛2-2 ページ)
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う場合には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを装着してください。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。
  重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■取り外しかた

① 本商品をスライドして取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

② 付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属の縦置き／壁掛け兼用スタンドを取り外します。

回線に接続する

以下の手順で接続します。

1 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

⚠ 警告	**光ファイバ導入部分の接続は当社で行いますので、お客様側での接続は不要です。故障の原因となる場合がありますので、光ファイバ導入部分はお手を触れないようにお願いします。**

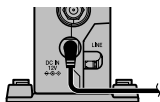
2 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンを、LANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

3 TVやSTBを接続する（PR-400KI/GV-ONUの場合のみ）

本商品の同軸ケーブルコネクタ端子とTVやSTBを接続します。

（次ページに続く）

4 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	**付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。**

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））
※ひかり電話サービスのご契約がお済みでない場合はひかり電話ランプは消灯のままとなります。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「6-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛6-3 ページ）を参照してください。）

お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「 」または「 」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN 対応電話機などはご利用できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様でLAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps(1000Mbps）に対応したLAN ケーブルをご用意ください。
  1Gbps（1000Mbps）に対応していないLAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLAN ポートのLINK ランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面のルータ電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACT ランプ、登録ランプ、認証ランプ、UNI ランプ、光回線ランプ、電源ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。

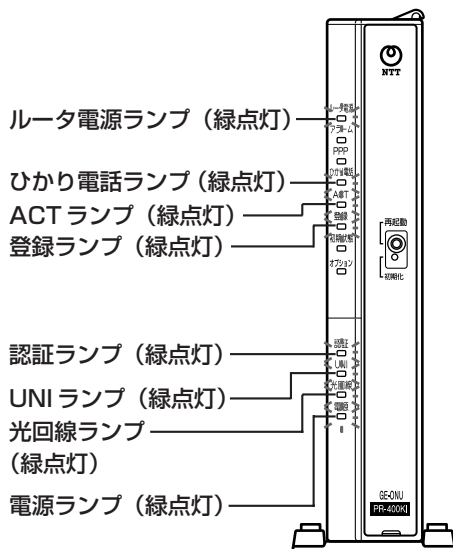
3 ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※本章にてご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。

映像出力ランプはPR-400KI/GV-ONUの場合のみにあります。また、映像出力ランプの点灯状態はひかり電話のご利用には影響しません。

⚠ 注意	本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

※節電機能動作時は、アラームランプ、PPPランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

電話のかけかた

①本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。
　通常どおり電話番号をダイヤルすると発信します。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順③で相手の方の電話番号をダイヤルしたあとに、⊛、指定着信番号（最大19桁）をダイヤルします。

指定着信番号の設定方法については、「指定着信機能」（☛3-16ページ）を参照してください。

お知らせ

- 本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用できません。（「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-4ページ）を参照してください。）
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセットを置いたままダイヤルする機能）を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルするときに正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や、番号に続けて「#」（シャープ）を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。
  「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて2秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 左記手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「＊＊＊11」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。（詳しくは「6章　本商品のバージョンアップ」（☛6-1ページ）を参照してください。）

電話の受けかた

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。

②通話が終わったらハンドセットを置きます。

お知らせ

- 「Web設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応したIP端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えません。ひかり電話使用終了後、一定時間たってから設定を行ってください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

・NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
・国際電話（世界約 200 の国と地域）
・携帯電話、PHS
・IP 電話サービス（050IP 電話サービス）
・他社の提供する 0AB ～ J 電話サービス

接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下のとおりです。（2011 年 2 月現在）

電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど ※1	○
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴング　テレドーム／データドーム	×
0190	エンジェルライン／あんないジョーズ	×
0570	ナビダイヤル	○ ※2
0800	フリーアクセス／フリーダイヤルなど	○
0910	公専接続	×
0990	ダイヤルQ2	×
	義援金募集番組	○ ※7
010	国際通話 ※3	○
020	ポケベル	×
050	IP電話	○
060	UPT（eコール）	×
070	PHS ※4	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○
100	100番通話 ※5	×
104	番号案内 ※6	○
106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）※5	×
108	自動コレクトコール ※5	×
110	警察（緊急通報）	○
113	故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116	営業受付	○
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○

電話番号	サービス名など	接続可否
121	クレジット通話サービス	×
134	ダイヤルQ2パスワード	×
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバーアナウンス・ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん、二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ	○
148	ナンバーリクエスト	○
149	DDX−TP	×
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
163	DDX−TP	×
164	DDX−TP	×
165	メール送受信	×
166	ビデオテックス接続	×
167	DDX−TP	×
169	DDX−TP	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
178	オフトーク	×
184	発信者番号通知拒否	○
186	発信者番号通知	○

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※2 NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※3 国際フリーダイヤルなど（「010-800」で始まる番号）には接続できません。
※4 発信先（相手側）のPHS端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。
※5 「100番通話（100）」、「コレクトコール（106・108）」は、着信もご利用いただけません。
※6 ひかり電話から発信した場合、DIAL104サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用いただけません。なお、加入電話・ISDNから発信して、DIAL104サービスにて案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。
※7 大規模災害発生時に株式会社テレビ朝日が提供する「テレビ朝日ドラえもん募金」、株式会社東京放送ホールディングスが提供する「JNN・JRN共同災害募金」をご利用いただけます。
　＊「ドラえもん」は株式会社小学館集英社プロダクションの登録商標です。
　＊「JNN」「JRN」は株式会社東京放送ホールディングスの登録商標です。

ひかり電話で以下の操作はできません

・シャープダイヤル（#＋4桁の番号サービス）への発信
・電気通信事業者を指定した発信（0036など番号の頭に「00XY」を付与する番号への発信）

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線 IP 電話機、LAN ポートに接続された IP 端末などを呼び出して、通話することができます。

①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-22 ページ、IP 端末 ☛3-25 ページ）
③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線 IP 電話機、LAN ポートに接続された IP 端末などに取りつぎます。

①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-22 ページ、IP 端末 ☛3-25 ページ）
③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
④ハンドセットを置いて転送を実行します。

お知らせ

- 同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか 1 通話です。
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「 # 」（シャープ）を押してください。
- 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
- フッキングとは
  電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1 お話し中に「プップッ･･･」という割込音が聞こえる

2 相手の方に伝え、フッキングする
最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話しする
最初に話していた方には保留音が流れます。

4 通話終了後にハンドセットを置く
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。
※フッキングでも切り替えができます。

■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホンの動作をします。（注 1）	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネル（☛3-9ページ）の両方のご契約がある場合	2 チャネルとも通話中のとき、上記のキャッチホン動作をします。（注 1） なお、1 チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※ 1）してください。（注 2）	呼び出し音が聞こえます。（注 3）
ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がある場合	1 チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※ 1）してください。（注 2）	呼び出し音が聞こえます。（注 3）
キャッチホン、ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。（注 4）	お話し中音が聞こえます。（注 4）

（※ 1）割込音通知は、パソコンまたは電話機から設定できます。
（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-30 ページ）
（注 1）キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定に関わらずキャッチホンの「プップッ…」という割込音が聞こえます。
（注 2）1 チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
（注 3）1 チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。
（注 4）内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「プップッ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

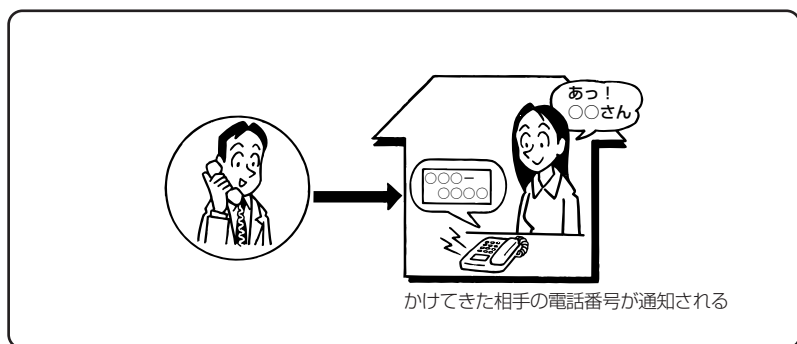
お知らせ

●キャッチホンをご利用いただくには、キャッチホンのご契約が必要です。
●ひかり電話をＢフレッツでご利用の場合は、キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネルのサービスを同時にご契約いただくことはできません。
●キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
●フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。１秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

●ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側にはお話し中音が聞こえます。
●ダブルチャネル／複数チャネルで割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。
別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。

●必要な設定

①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。
（パソコンから設定 ☛3-23ページ、電話機から設定 ☛3-30ページ）
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

お知らせ

●ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、iD マーク、ciD マーク、NiD マークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
●電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
●電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

●発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

●ひかり電話ご契約時の内容
ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+相手先電話番号	186+相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

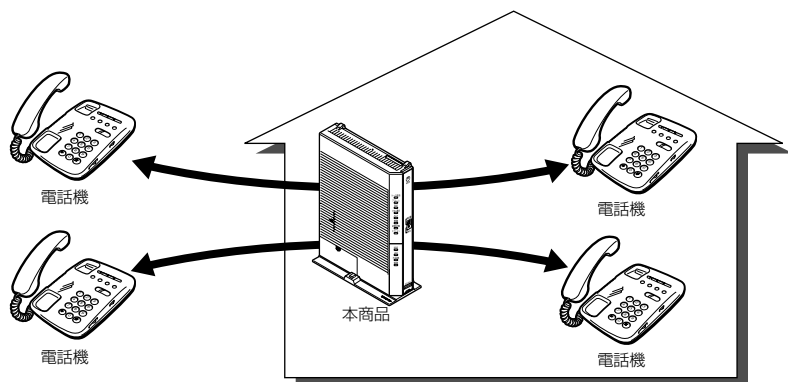
お知らせ

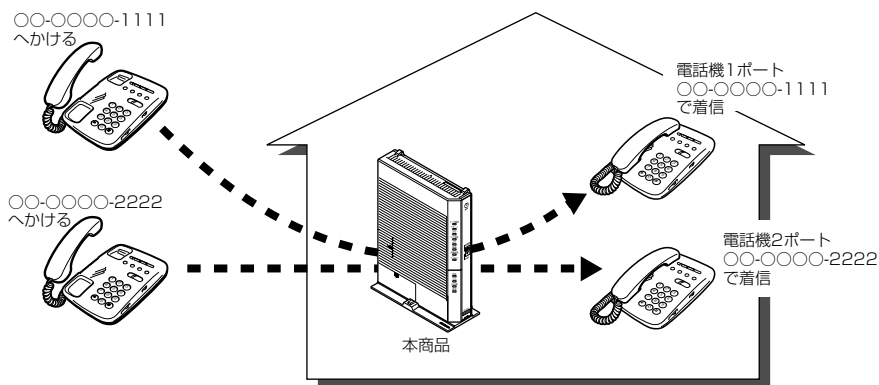
●指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

ダブルチャネル／複数チャネルを利用する

1 台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前にダブルチャネル／複数チャネルのご契約が必要となります。

※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
「■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて」（☛3-6 ページ）をご覧ください。

マイナンバー／追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。
ご使用になるには事前にマイナンバー／追加番号のご契約が必要となります。
※鳴り分けにはパソコンまたは電話機からの設定が必要です。
（パソコンから設定 ☛3-24 ページ、3-26 ページ、電話機から設定 ☛3-30 ページ）

内線番号設定

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次のとおり設定されています。
<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP端末

●設定方法

①「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス[http://192.168.1.1/]※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面で設定する
（アナログ端末 ☛3-22ページ、IP端末 ☛3-25ページ）
設定は電話機からも行えます。(☛3-31ページ)

お知らせ

●本商品に接続可能な端末は最大7台までですので、同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

●確認方法

①「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス[http://192.168.1.1/]※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］で確認する
（アナログ端末 ☛3-23ページ、IP端末 ☛3-26ページ）

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に、着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
あとからかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

	必要なご契約	必要な設定
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・キャッチホン	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-30 ページ）
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-30 ページ） ・割込音通知を「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-30 ページ）
ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル ・キャッチホン	

※ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。
キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。

お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、 マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

割込音通知

ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

●設定方法

① 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の［編集］をクリックする
③ ［内線設定］画面の［ひかり電話設定］－［割込音通知］で設定する（アナログ端末 ☛3-23 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）

お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信番号］で設定する
（アナログ端末 ☛3-24 ページ、IP 端末 ☛3-26 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）

一斉着信

1 つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信番号］で着信する電話番号にチェックする
（アナログ端末 ☛3-24 ページ、IP 端末 ☛3-26 ページ）
④ 着信させたいすべての内線番号について②、③を繰り返して同様に設定する

設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信音選択］で着信音を選択する
（アナログ端末 ☛3-24 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-31 ページ）

お知らせ

●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

●設定方法

① 「Web 設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス[http://192.168.1.1/]※工場出荷時の場合」)を開き、メニューの[電話設定]－[内線設定]を選択する
② 編集する内線番号の[編集]をクリックする
③ [内線設定]画面の[ひかり電話設定]－[モデムダイヤルイン]で設定する
(アナログ端末 ☛3-23 ページ)

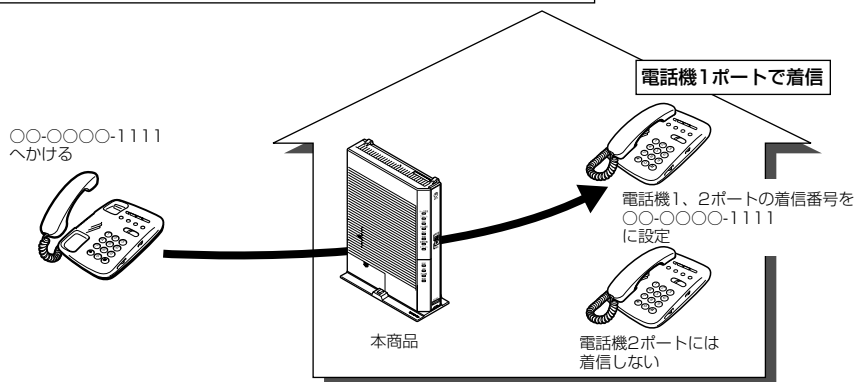
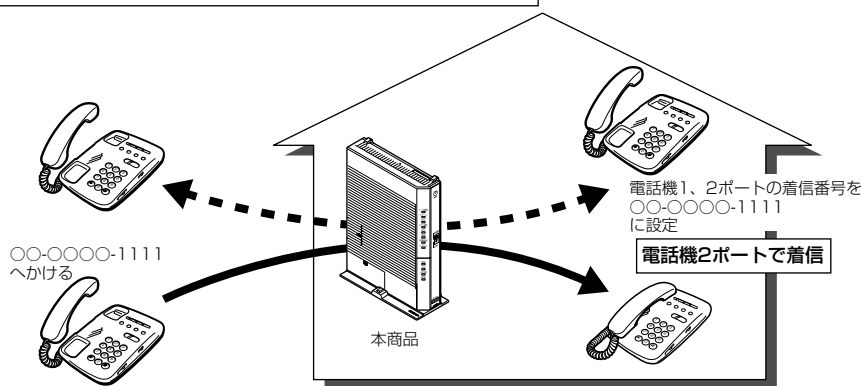
設定は電話機からも行えます。(☛3-30 ページ)

お知らせ

●モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書などをご参照ください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

優先着信ポート

本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。
優先着信ポートをご利用になる場合、IP 端末はご利用になれません。

【電話機 1 ポートを優先着信ポートに設定した場合】

※ダブルチャネル／複数チャネルをご利用の場合、電話機 1 ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機 2 ポートにのみ着信します。

※キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機 1 ポートが通話中であっても電話機 2 ポートには着信しません。通話中の電話機 1 ポートにキャッチホンの「プップッ・・・」という割込音が聞こえます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する

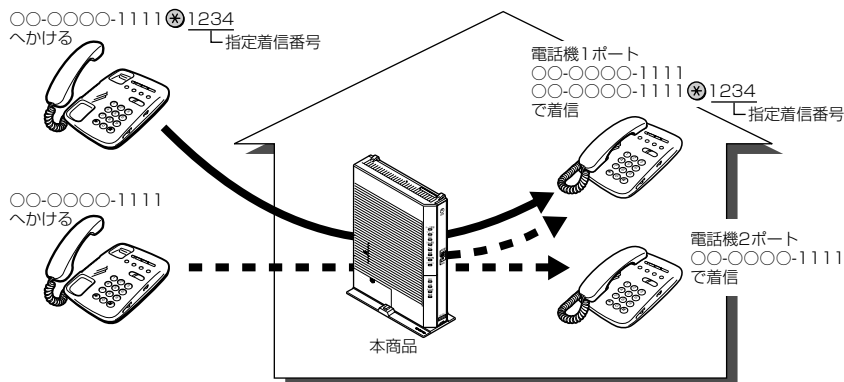
②［優先着信ポート］で優先する電話機ポートを選択する（☛3-19 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-29 ページ）

 お知らせ

- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、電話機 1、2 ポートを無効に設定できません。電話機 1、2 ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定する場合は、電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を 1 つ以上設定している必要があります。電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を設定しない場合、優先着信ポートの設定は無効になります。
- ●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を利用すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
②編集する内線番号の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］で指定着信機能を使用する電話番号の［指定着信機能］－［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に使用する指定着信番号を入力する（☛3-24 ページ）
④指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、［指定なし着信］にチェックする

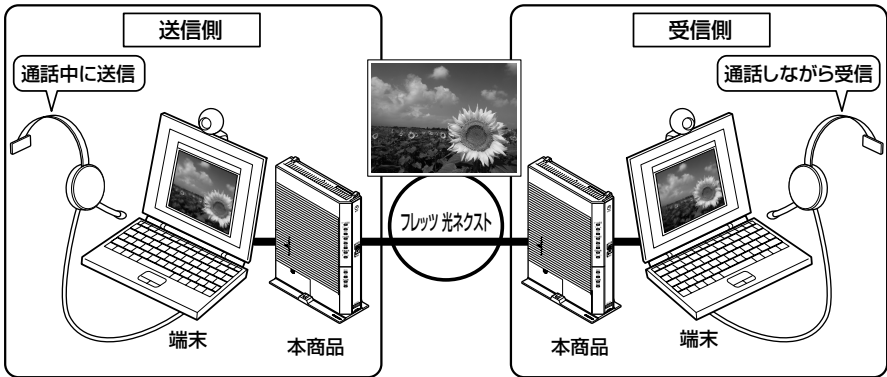
設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）

お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。
●指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン（☛3-6 ページ）はご利用いただけません。
●マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は 1 つだけです。
●指定着信番号は 0 ～ 9 の任意の数字で、最大 19 桁となります。
●指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。
●ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線や NTT 東日本／NTT 西日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

通話中の相手先からのメディア変更機能

フレッツ 光ネクストのひかり電話同士で、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら専用の帯域を確保して、画像ファイルなど様々な形式のデータを送受信できるようになっています。（端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります。）

このお客様がひかり電話同士で通話中に、各種データ送受信を開始する処理のことを、「メディア変更」と呼びます。
本機能では、通話相手からメディア変更の要求を受けたときにそれを許容するか・許容しないかを設定することができます。また、メディア変更を許容しないに設定した場合でも、あらかじめ登録した電話番号は、メディア変更を許容するように設定できます。

●設定方法
①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する
②「メディア変更」のプルダウンから、下記のいずれかを選択する
・常に許容する：自分が発信者/着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます
・発信時のみ許容しない：自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します
・常に許容しない：自分が発信者/受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します
③［設定］をクリックする
④「メディア変更を許容する電話番号」の［編集］をクリックする
※手順②で「常に許容する」を選択している場合は、[編集]は使用できません。
⑤データの受信を許容する電話番号を設定する

お知らせ

●あらかじめ登録した電話番号に対するメディア変更を許容するためには、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。（☛3-8 ページ）
●「メディア変更を許容する電話番号」に登録した電話番号からメディア変更機能をご利用になる場合は、発信者側の発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法は、ご利用になる機器の取扱説明書などをご覧ください。
●通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。
●設定方法詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

3-4 パソコンからひかり電話の設定をする

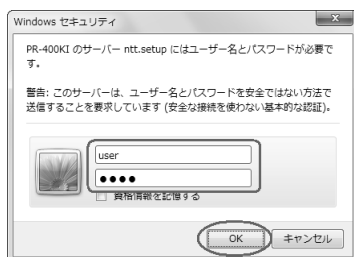
ひかり電話の設定をするには

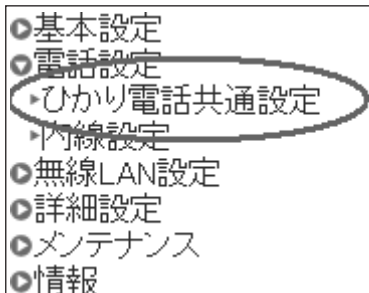
ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品に接続されたパソコンのWebブラウザで本商品の「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］、または［内線設定］から行います。
ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

※はじめて本商品の「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開いた場合は、本商品の初期設定を行ってください。（☛4-8ページ）

■［ひかり電話共通設定］画面で設定する

1 Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」を入力し、「Web設定」ページを開く

2 ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-3　本商品の設定をする」（☛4-8ページ）手順2で入力した機器設定用パスワードを入力し［OK］をクリックする

!
ユーザー名、パスワードが間違っていた場合は認証エラー画面が表示されます。［トップページへ］をクリックして再度入力してください。
※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

3 メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する

4 ［ひかり電話共通設定］画面で設定する

ひかり電話共通設定　ヘルプ?

トップページ > 電話設定 > ひかり電話共通設定

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

[ひかり電話設定]
音質優先モード　なし ①
優先着信ポート　無効 ②

[拡張設定]
PING応答機能　☑使用する ③

[通話中の相手先からのメディア変更設定]
メディア変更　常に許容する ④
メディア変更を許容する電話番号　編集 ⑤

設定

【ひかり電話設定】

①音質優先モード

インターネットとひかり電話を同時にご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。
※音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。
・「なし」　音声優先制御を行いません。
・「優先」　音声パケットを優先処理します。
・「最優先」　音声パケットを最優先で処理します。
(初期値：なし)

②優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。
・［アナログ端末（電話機 1)］　電話機 1 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
・［アナログ端末（電話機 2)］　電話機 2 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
・「無効」　優先着信を行いません。
（初期値：無効）
※優先着信ポートを設定する場合は［内線設定］画面で次の設定が必要です。
・［電話設定］－［内線設定］の［アナログ端末（電話機 1)］と［アナログ端末（電話機 2)］の［利用有無］にチェックしてください。(☛3-21 ページ)
・［電話設定］－［内線設定］で［IPphone1］～［IPphone5］の［利用有無］のチェックをすべて外してください。(☛3-21 ページ)
・［電話設定］－［内線設定］で[アナログ端末（電話機 1)]、[アナログ端末（電話機 2）]に同一の着信番号を 1 つ以上選択し、［割込音通知］を「使用しない」に設定してください。(☛3-23 ページ)

【拡張設定】

③ PING 応答機能

ひかり電話網からの PING に応答する機能を使用する場合にチェックします。
(初期値：使用する)

（次ページに続く）

【通話中の相手先からのメディア変更設定】

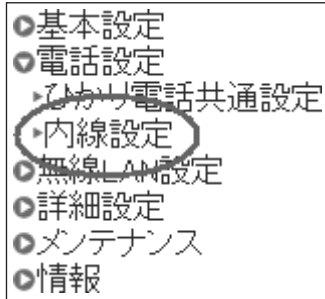
※B フレッツをご利用の場合、「通話中の相手先からのメディア変更設定」は表示されない場合があります。

④メディア変更	通話中の相手からのデータ受信の可否を選択します。 ・常に許容する： 自分が発信者/着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます ・発信時のみ許容しない： 自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します ・常に許容しない： 自分が発信者/受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します ※選択後、［設定］をクリックしてください。 （初期値：常に許容する）
⑤メディア変更を許容する電話番号	データの受信を許容する電話番号を設定します。 ※［メディア変更］を［常に許容する］に設定している場合は設定ができません。

5 ［設定］をクリックする

■［内線設定］画面で設定する

1　**「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する**

基本設定
電話設定
ひかり電話共通設定
内線設定
無線LAN設定
詳細設定
メンテナンス
情報

2　**編集する内線番号の［編集］をクリックする**

内線設定　ヘルプ？

トップページ > 電話設定 > 内線設定

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

電話の設定を行います。

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	IPバージョン	編集	削除
☑	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	－	－	－	－	－	編集	－
☑	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	－	－	－	－	－	編集	－
☑	3	IPphone1	通常端末	－	－	－	未登録	－	編集	削除
☑	4	IPphone2	通常端末	－	－	－	未登録	－	編集	削除
☑	5	IPphone3	通常端末	－	－	－	未登録	－	編集	削除
☑	6	IPphone4	通常端末	－	－	－	未登録	－	編集	削除
☑	7	IPphone5	通常端末	－	－	－	未登録	－	編集	削除

設定

内線番号を有効にするには、［内線設定］画面で使用する内線番号の［利用有無］にチェックして、［設定］をクリックします。同時に使用できる内線番号は最大 7 つまでです。

※初期値は下記の内線番号でアナログ端末／ IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。内線番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

＜初期値＞

内線番号	内線設定画面
1 ～ 2	アナログ端末
3 ～ 7	IP 端末

＜「アナログ端末」の内線番号を選択した場合＞

［内線設定（アナログ端末)］の編集画面で、編集・設定します。（☛3-22 ページ）

＜「IP 端末」の内線番号を選択した場合＞

［内線設定（IP 端末)］の編集画面で、編集・設定します。（☛3-25 ページ）

（次ページに続く）

3 ［内線設定］画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、☛3-21 ページ～ ☛3-26 ページの手順２～手順５を繰り返して設定してください。

内線設定(アナログ端末1)　ヘルプ？

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > **内線設定(アナログ端末1)**

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

［内線設定］
内線番号　1 ―①
ニックネーム　TEL1 ―②

［ひかり電話設定］
ナンバー・ディスプレイ　☑使用する ―③
キャッチホン・ディスプレイ　□使用する ―④
モデムダイヤルイン　□使用する ―⑤
割込音通知　☑使用する ―⑥
ダイヤル桁間タイマ　4 秒 ―⑦
エコー・キャンセラ　☑使用する ―⑧

［電話番号設定］

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
	◉	☑	□		□	IR
	○	☑	□		□	IR
	○	☑	□		□	IR
	○	☑	□		□	IR
	○	☑	□		□	IR
内線	−	−	−	−	−	SIR

⑨電話番号　⑩通知番号　⑪着信番号　⑫指定着信機能　⑬着信音選択

設定　戻る

【内線設定】

①内線番号

内線番号を入力します。
「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
（初期値：下記の表を参照）

②ニックネーム

ニックネームを入力します。
任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、半角英数字および記号（「空白」「;（セミコロン）」「"（ダブルクォーテーション）」を除く）で設定します。
最大 64 文字まで入力できます。
（初期値：下記の表を参照）

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム
1	TEL1
2	TEL2

【ひかり電話設定】

項目	説明
③ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。 （ナンバー・ディスプレイについては ☛3-8ページ ） （初期値：使用する） ※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は［使用する］のチェックを外してください。
④キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイを使用する場合にチェックします。 ナンバー・ディスプレイを［使用する］に設定している場合のみ設定できます。 （キャッチホン・ディスプレイについては ☛3-12ページ） （初期値：使用しない）
⑤モデムダイヤルイン	モデムダイヤルインを使用する場合にチェックします。 （初期値：使用しない）
⑥割込音通知	ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込音を使用する場合にチェックします。 （ダブルチャネル／複数チャネルについては ☛3-9ページ） （初期値：使用する）
⑦ダイヤル桁間タイマ（秒）	電話機からのダイヤルを受付する間隔を設定します。設定できる値は「4～8」（秒）です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行ったときに発信するまでの時間が長くなります。 （初期値：4秒）
⑧エコー・キャンセラ	エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。 （初期値：使用する）

【電話番号設定】

項目	説明
⑨電話番号	ご契約された電話番号（外線）が表示されます。
⑩通知番号	発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。 ※［通知番号］に設定した電話番号は［着信番号］に設定されます。 ※［通知番号］に設定した電話番号に［指定着信機能］を設定しても相手先に［指定着信番号］は通知されません。 （初期値：契約者回線番号）

（次ページに続く）

⑪着信番号	各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。 （初期値：すべての電話番号）
⑫指定着信機能	指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に使用する指定着信番号を入力します。（1～19桁の数字を入力してください。） 指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は［指定なし着信］にチェックします。 ※指定着信機能は電話機1、2ポートで1つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん［使用する］のチェックを外してください。 （初期値：使用しない）
⑬着信音選択	電話番号ごとに着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。 ・「IR」 着信音が「1秒あり＋2秒なし」を繰り返します。（「プルルルー、プルルルー・・・」と鳴動します。） ・「SIR」 着信音が「0.3秒あり＋0.3秒なし＋0.3秒あり＋2.1秒なし」を繰り返します。 （「プルルッ、プルルッ・・・」と鳴動します。） （初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」）

お知らせ

●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

●着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

【内線設定（IP 端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、☛3-21 ページ～ ☛3-26 ページの手順２～手順５を繰り返して設定してください。

①内線番号	内線番号を入力します。 「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の１～２桁を設定できます。 ※重複した内線番号は設定できません。 （初期値：次ページの表を参照）
②ニックネーム	ニックネームを入力します。 任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、半角英数字および記号（「空白」「;（セミコロン）」「"（ダブルクォーテーション）」を除く）で設定します。 最大 64 文字まで入力できます。 （初期値：次ページの表を参照）
③端末属性	端末属性を「音声専用端末」、「通常端末」から選択します。 ※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。 （初期値：通常端末）
④ MAC アドレス	IP 端末の MAC アドレスを入力します。 （初期値：空欄）
⑤ダイジェスト認証	IP 端末とのダイジェスト認証を行うかどうか選択します。 （初期値：行う）

（次ページに続く）

⑥ユーザ ID

任意のユーザ ID を入力します。
使用できるのは、半角英数字で最大 32 文字です。
※ここで設定したユーザ ID と同じユーザ ID を、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。IP 端末によっては、空欄に設定する場合もあります。
（初期値：下記の表を参照）

⑦パスワード

任意のパスワードを入力します。
使用できるのは、半角英数字で最大 32 文字です。
※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。ユーザ ID が空欄の場合は、パスワードは不要です。
（初期値：自動生成（半角 8 桁））

<初期値>

内線番号	ニックネーム	ユーザ ID
3	IPphone1	0003
4	IPphone2	0004
5	IPphone3	0005
6	IPphone4	0006
7	IPphone5	0007

【電話番号設定】

⑧電話番号

ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

⑨通知番号

発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。
※［通知番号］に設定した電話番号は［着信番号］に設定されます。
（初期値：契約者回線番号）

⑩着信番号

各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。
（初期値：すべての電話番号）

4 ［設定］をクリックする

5 ［戻る］をクリックする

6 設定した内線番号にチェックして［設定］をクリックする

※最大 7 つの番号までチェックできます。

お知らせ

●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。

3-5 電話機からひかり電話の設定をする

電話機からひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。

■設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。それぞれの機能を設定する際には「■設定一覧」（☛3-29ページ）を参照してください。

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する

2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目		
＊ ＊ ＊ 9 0	ひかり電話共通設定	➡ 手順４に進む
＊ ＊ ＊ 9 9	内線設定（アナログ端末）	➡ 手順３に進む

3 設定項目が「内線設定（アナログ端末）」の場合は、「ポート番号」を押す

設定項目が「ひかり電話共通設定」の場合は、手順４に進みます。

ポート番号	
1	電話機１
2	電話機２

4 「＊ 機能番号 ＊ 設定値 ＃」と押す

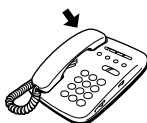
機能番号（例）		設定値（例）	
9 1	ナンバー・ディスプレイ設定	1	使用する
		2	使用しない

※同じ設定項目で複数の設定を行う場合は、手順３に戻って設定します。

※機能番号と設定値については、「■設定一覧」（☛3-29ページ）を参照してください。

5 すべての設定が終わったら、「＃」と押す

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

6 ハンドセットを置く

〈設定例：電話機１ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する

2 電話機のダイヤルボタンを

「⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⑨ ① ⊛ ⑨ ① ⊛ ② ⊕ ⊕」と押す

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

3 ハンドセットを置く

お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や、中止した場合は、設定が無効になります。はじめから設定をやり直してください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- １台の電話機で設定中に２台目の電話機から設定することはできません。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

■設定一覧

電話機から設定できるひかり電話の設定は次のとおりです。
設定手順（☛3-27ページ）を参考に、左から順に操作します。

※ダイヤルボタンを押す間隔が30秒以上あくと、設定が中止されます。

【ひかり電話共通設定】（＊＊＊90）　　※下線＿＿は、初期値です。

機能番号	開始操作	＊	機能番号	＊	設定値・設定内容	終了操作
00	音質優先モード（☛3-19ページ）					
	＊＊＊90	＊	00	＊	①：なし（下線） ②：優先 ③：最優先	##
01	優先着信ポート（☛3-14ページ）※1※2					
	＊＊＊90	＊	01	＊	①：アナログ端末（電話機1） ②：アナログ端末（電話機2） ③：無効（下線）	##
02	アナログポート無効化					
	＊＊＊90	＊	02	＊	①：設定操作側と反対の電話機ポートを無効化 ②：電話機1、2ポート有効（下線）	##
	※無効に設定する場合は、電話機1ポートから操作すると、電話機2ポートが無効に設定されます。電話機2ポートから操作すると、電話機1ポートが無効に設定されます。 ※有効に設定する場合は、電話機1ポート、電話機2ポートのどちらから操作しても、両方の電話機ポートが有効に設定されます。					

※1　設定する場合は、3-31ページの「お知らせ」を参照してください。
※2　優先着信ポートとアナログポート無効化は連続して設定できません。

3

ひかり電話の使いかた

【内線設定（アナログ端末）】（⊛⊛⊛⑨⑨）

●「内線設定（アナログ端末）」では、電話機1ポート、電話機2ポートごとに設定が必要です。

電話機1ポートの設定→ポート番号①を押す

電話機2ポートの設定→ポート番号②を押す　　　　※下線 ＿＿ は、初期値です。

機能番号	開始操作	ポート番号	⊛	機能番号	⊛	設定値・設定内容	終了操作
91	ナンバー・ディスプレイ（☛3-8ページ）						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨①	⊛	<u>①：使用する</u> ②：使用しない	(#)(#)
92	モデムダイヤルイン（☛3-14ページ）						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨②	⊛	①：使用する <u>②：使用しない</u>	(#)(#)
93	割込音通知（☛3-12ページ）※1						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨③	⊛	<u>①：使用する</u> ②：使用しない	(#)(#)
94	着信番号（☛3-24ページ）※1						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨④	⊛	（着信番号）	(#)(#)
	※複数の電話番号のうち、着信番号を1つの電話番号（通知番号）に設定する場合は、通知番号の設定を先に行ってください。 ※複数の番号を設定する場合は、「⊛（着信番号）」を繰り返して設定します。 3-32ページの「お知らせ」を参照してください。						
95	指定着信機能（☛3-16ページ）※1						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨⑤	⊛	（着信番号）⊛（指定着信番号）	(#)(#)
96	キャッチホン・ディスプレイ（☛3-12ページ）※2						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨⑥	⊛	①：使用する <u>②：使用しない</u>	(#)(#)
97	ダイヤル桁間タイマ（☛3-23ページ）						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨⑦	⊛	<u>④：4秒</u> ⑤：5秒 ⑥：6秒 ⑦：7秒 ⑧：8秒	(#)(#)
98	エコー・キャンセラ（☛3-23ページ）						
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または②	⊛	⑨⑧	⊛	<u>①：使用する</u> ②：使用しない	(#)(#)

機能番号	開始操作	ポート番号	＊	機能番号	＊	設定値・設定内容	終了操作
00	通知番号（☛3-23 ページ）※３						
	＊＊＊99	①または②	＊	00	＊	（通知番号）	##
01	内線番号（☛3-11 ページ）※４						
	＊＊＊99	①または②	＊	01	＊	（内線番号）	##
	※初期値は、電話機１ポート：１、電話機２ポート：２です。						
02	着信音選択（☛3-24 ページ）						
	＊＊＊99	①または②	＊	02	＊	（着信番号）＊ ①：IR ②：SIR	##
	※初期値は、外線用：IR 、内線用：SIR です。						

※１　設定する場合は、3-31 ページの「お知らせ」を参照してください。
※２　ナンバー・ディスプレイが「使用する」に設定されている場合に設定できます。
※３　通知番号に設定した電話番号は、着信番号に設定されます。
※４　内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。（初期値：１～７）

お知らせ

●優先着信ポート
・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。
電話機１、２ポート：「内線番号」が「有効」に設定されます。
「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。
すべての IP 端末　：「内線番号」が「無効」に設定されます。
・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。
①電話機１、２ポートで同じ着信番号が設定されていない場合
②電話機１、２ポートで同じ着信番号が１つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

●アナログポート無効化
優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。
電話機１、２ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。アナログポート無効化とあわせて他の設定を一度行った場合は、他の設定もやり直してください。

●割込音通知
優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。
割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。

（次ページに続く）

●着信番号

・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号以外は、着信しない設定になります。

<複数の電話番号を着信番号として設定するには>

複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「＊（着信番号）」を繰り返して設定してください。

（例）電話機１ポートに着信番号「03○○○○1111」「03○○○○2222」を設定する場合

＊＊＊９９１＊９４＊03○○○○1111

＊03○○○○2222 ＃＃

・着信番号を設定する電話機ポートに指定着信番号が設定されている場合、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。

・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった
（例：ダイヤルボタンを「＊＊＊９９１（または２）＊９４＊＃＃」と押した）場合は、通知番号に指定された電話番号以外は着信しない設定になります。

●指定着信機能

・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。

・指定着信番号は、電話機１、２ポートで１つの番号でのみ使用できます。

・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。
①電話機１、２ポートで同じ着信番号が１つであり、優先着信ポートが設定されている場合
②着信番号に設定していない電話番号を指定着信番号に設定した場合

・指定着信の設定で指定着信番号を設定しなかった
（例：ダイヤルボタンを「＊＊＊９９１（または２）＊９５＊（着信番号）＊＃＃」と押した）場合は、指定着信番号は消去され、指定着信番号は「使用しない」に設定されます。

3-6 複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する

ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。
ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。
設定はパソコンまたは電話機から行います。
設定例を確認後、それぞれの設定方法を参照してください。

●パソコンから設定する場合
「Web 設定」ページメニューの［電話設定］－［内線設定］［内線設定（アナログ端末 1)］／［内線設定（アナログ端末 2)］で［通知番号］［着信番号］［着信音選択］を設定します。「3-4　パソコンからひかり電話の設定をする」（☛3-18 ページ）を参照してください。

●電話機から設定する場合
「3-5　電話機からひかり電話の設定をする」（☛3-27 ページ）を参照してください。

ファクスと電話で使い分けたいときには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】
● マイナンバー／追加番号（2 番号）
● ダブルチャネル／複数チャネル
※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	☐ 着信しない	―

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	―
03-○○○○-2222	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】

●マイナンバー／追加番号（2 番号）

● ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	－
03-○○○○-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

2 世帯で電話を鳴り分けて使うには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】

● マイナンバー／追加番号（2 番号）

● ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

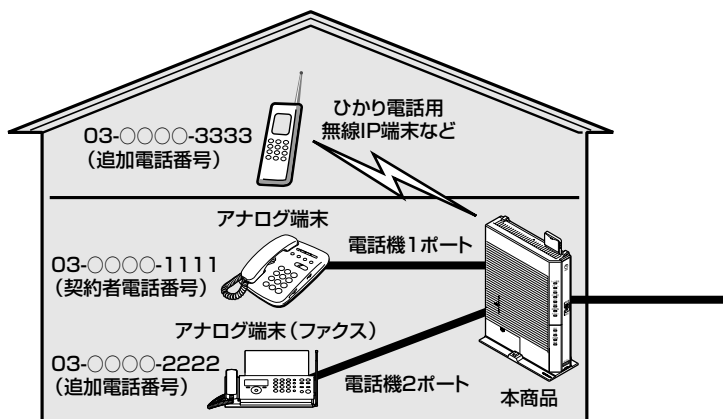
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	⊙ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR
03-○○○○-2222	⊙ 通知する	☑ 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

ひかり電話用無線IP端末などを利用したいときには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】
●マイナンバー／追加番号（3 番号）
● ダブルチャネル／複数チャネル
※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	⊙ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	−
03-○○○○-3333	○ 通知しない	□ 着信しない	−

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	−
03-○○○○-2222	⊙ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-3333	○ 通知しない	□ 着信しない	−

IP 端末 1

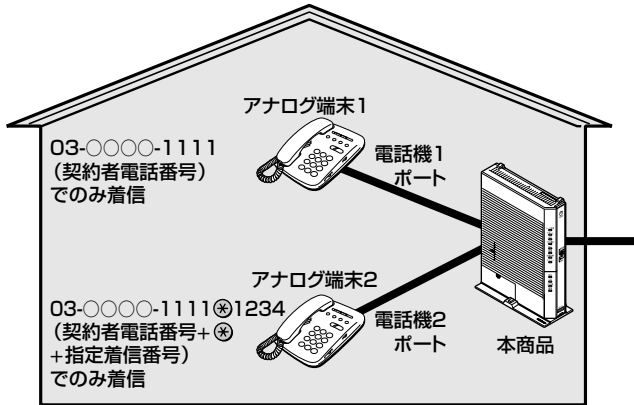
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	−
03-○○○○-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	−
03-○○○○-3333	⊙ 通知する	☑ 着信する	−

※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。
※ IP 端末の設定は電話機からは行えません。パソコンから設定してください。

指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに着信させたいときには

【利用例】

「03-○○○○-1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機１のみ着信させる。
「03-○○○○-1111 ㊟ 1234」でかかってきた場合は、アナログ電話機２のみ着信させる。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定なし着信	着信音選択
03-○○○○-1111	⊙ 通知する	☑ 着信する	□ 使用しない	−	−	IR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定なし着信	着信音選択
03-○○○○-1111	⊙ 通知する	☑ 着信する	☑ 使用する	1234	□ 着信しない	IR

※「Web 設定」ページの［電話設定］－［内線設定］の［アナログ端末（電話機 1）］／［アナログ端末（電話機 2）］画面で［電話番号設定］の［指定着信機能］にチェックし、［指定着信番号］に「1234」（指定着信番号）を入力します。
指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は［指定なし着信］にチェックします。

お知らせ

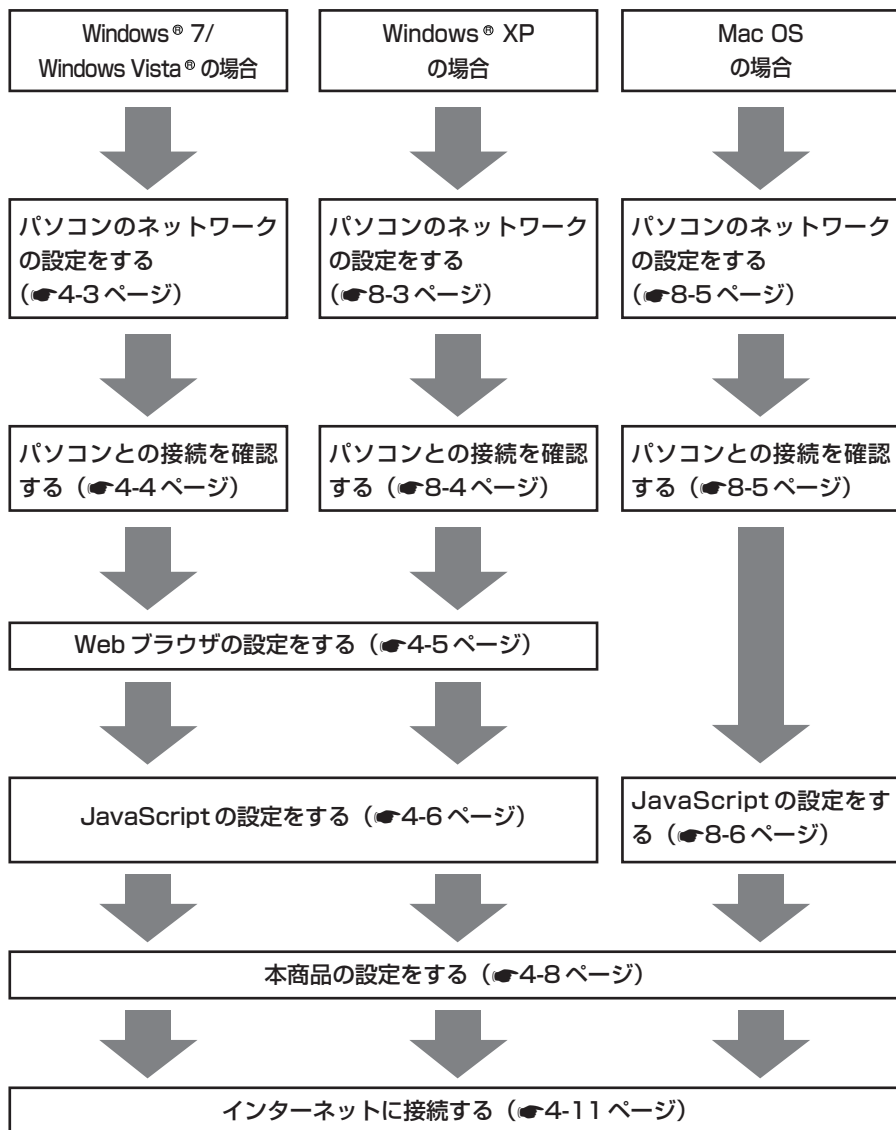
●アナログ端末のみで使用できる機能です。
●指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンはご利用いただけません。
●ガスの遠隔検針などでご利用いただけます。

4 インターネット接続の設定をする

この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

※本章に記載しております「インターネット接続の設定（プロバイダの資料にしたがった設定)」はインターネット（IPv4）接続に関する案内となります。

4-1 設定の流れ

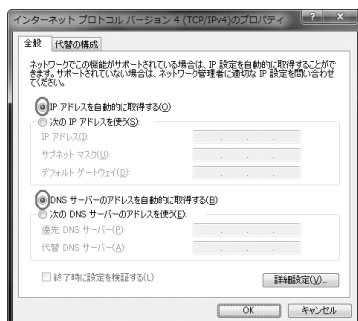
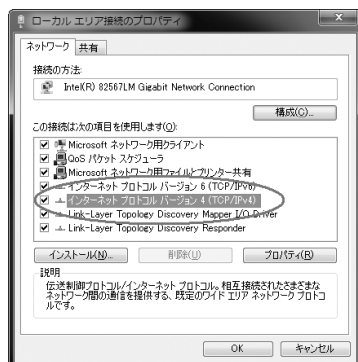
本商品のインターネット接続は次の手順で行います。
パソコンのOSによってそれぞれのページを参照して行ってください。

4-2 パソコンのネットワーク設定（Windows® 7/Windows Vista®）

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。
「4-3　本商品の設定をする」（☛4-8ページ）へお進みください。

パソコンのネットワークの設定をする（Windows®7/Windows Vista®）

Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする
3. ［アダプターの設定の変更］または［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする
4. ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
   ※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックします。
5. ［インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

6. ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

7. ［OK］をクリックする
8. ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

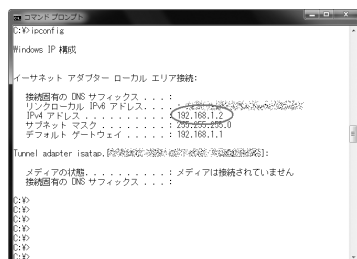
●本書では、Windows® 7/Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

パソコンとの接続を確認する（Windows® 7/Windows Vista®）

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」または「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押す

4 ［イーサネット　アダプター　ローカル エリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Web ブラウザの設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

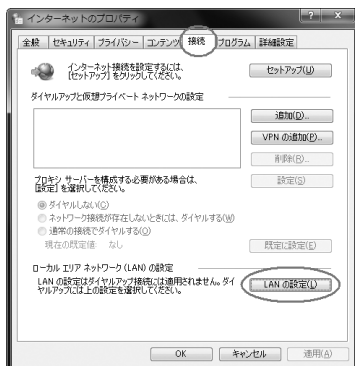
以下は、Windows® 7 で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

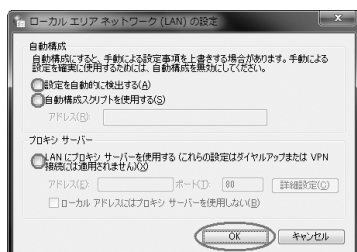
1　**［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する**

2　**［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする**

> **Windows® XP の場合**
>
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

3　**［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する**

4　**［LAN の設定］をクリックする**

5　**［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする**

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。

6　**［OK］をクリックする**

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScriptの設定をする（Windows® 共通）

Webブラウザで設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。
※Webブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® 7でInternet Explorer® 8.0を使用している場合の例です。

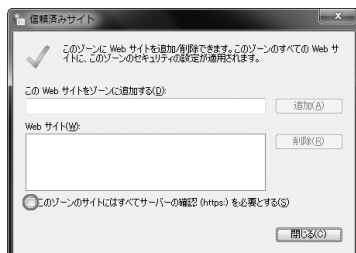
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

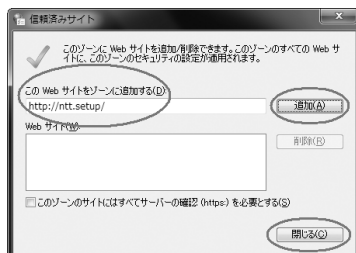
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする

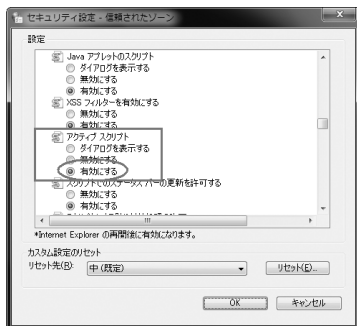
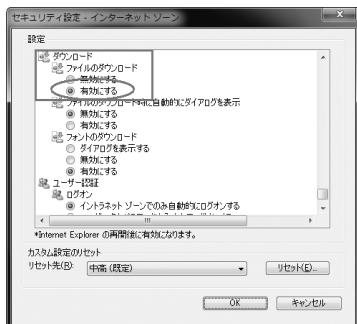
> **Windows® XPの場合**
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

3 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

4 ［サイト］をクリックする

5 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

6 ［このWebサイトをゾーンに追加する］に「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（工場出荷時は192.168.1.1）を入力して［追加］をクリックし、［閉じる］をクリックする（例：「192.168.1.1」）

> **Windows® XPの場合**
> ［次のWebサイトをゾーンに追加する］に「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（工場出荷時は192.168.1.1）を入力して［追加］をクリックし、［閉じる］をクリックします。

7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

8 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更する

9 画面をスクロールし、［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

4-3 本商品の設定をする

本商品のインターネット接続の設定は、Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を使って「Web 設定」を起動して行います。

■「Web 設定」で設定する

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきましょう。設定画面が開けない場合には、「4-1　設定の流れ」（☛4-2 ページ）をご覧のうえ、パソコンの設定を確認してください。

1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」を入力し、「Web 設定」ページを開く

2 機器設定用パスワードの初期設定を行う

画面にしたがって任意の文字列（半角英数字及び記号（「空白」「;（セミコロン）」「"（ダブルクォーテーション）」を除く）で最大 32 文字まで）を入力してください。

機器設定用パスワードの初期設定　ヘルプ?

本商品は、第三者による不意のアクセスや設定変更を防止するため、機器設定用パスワードを入力してはじめてアクセスできるようになっています。
パスワードに使用できるのは32文字以内の半角英数文字(「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」「半角スペース」を除く)です。
※本商品を設定するためのパスワードです。プロバイダから供給されるパスワードではありません。

[機器設定用パスワードの初期設定]
パスワード
パスワード再入力
設定

!

機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

機器設定用パスワード

機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください（☛8-10 ページ）。機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。
パスワードはお客様にて厳重に管理してください。

3 ［設定］をクリックする

［機器設定用パスワードの初期設定に成功しました。OK ボタンを押すと、設定ウィザード画面が表示されます。］と表示された場合は、［OK］をクリックします。

4 ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力し［OK］をクリックする

!

手順 4 で認証に失敗すると、下記の画面が表示されます。
［トップページへ］をクリックし、再度ユーザー名、パスワードを入力してください。
※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

認証エラー

認証に失敗しました。
ユーザー名とパスワードを確認してください。

［現在のバージョン］
現在のファームウェアバージョン

［アップデート設定］
ファームウェア更新種別

5 プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力する

※インターネットの接続先を設定しない場合は、[インターネット接続先を設定しない］を選択し、手順6へお進みください。

※画面は例です。

Bフレッツをご利用の場合、[フレッツ・スクウェア接続］が表示されます。（フレッツ光ネクストをご利用の場合は表示されません。）

接続先ユーザ名：

プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。

「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。

例： xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続先ユーザ名は、半角英数字および記号（「空白」「；（セミコロン）」「"（ダブルクォーテーション）」を除く）で入力します。最大63文字まで入力できます。

接続パスワード：

プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。

「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。

接続パスワードは、半角英数字および記号（「空白」を除く）で入力します。最大63文字まで入力できます。

6 ［設定］をクリックする

7 ［再表示］をクリックする

ひかり電話ランプが緑点灯していることを確認し、[再表示］をクリックしてください。

8 「Web設定」のトップページが表示される

以上でインターネット接続の設定は終わりました。

Webブラウザを閉じて「Web設定」を終了してください。

「接続先の設定」を行った場合は、PPPランプが緑点灯することを確認してください。

PPPランプが点灯しない場合は「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-6ページ）を参照してください。

（次ページに続く）

お知らせ

●本項の手順で設定された接続先ユーザ名、接続パスワードは「メインセッション」に設定されます。「メインセッション」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
●プロバイダからDNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド（HTML ファイル）」をご覧ください。
●「フレッツ・スクウェア」で「設定する」を選択した場合は、「セッション3」に設定されます。フレッツ光ネクストをご利用の場合や、設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
●本項の手順は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く場合は、手順1に続いて手順4の画面が表示されます。機器設定用パスワードの入力が必要となりますので、手順2で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。ログインすると、「Web 設定」のトップページが表示されます。
●説明に使用している画面表示は、お使いのWeb ブラウザやお使いのOS によって異なります。
●対応するブラウザについては「対応OS の確認とWeb ブラウザの準備」（☛1-14 ページ）をご覧ください。
●「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
●「Web 設定」を操作すると、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
●「Web 設定」を行うとき、「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後、一定時間たってから再度操作を行ってください。
●他の設定を実行中は、「Web 設定」での設定は行えません。

4-4 インターネットに接続する

Webブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

1 **Webブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する**

本商品のPPPランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。

2 **インターネット上のホームページを開く**

お知らせ

- PPPoEブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPPランプは緑点灯しません。
- 接続モードを要求時接続に設定してる場合、無通信時にはPPPランプが消灯しています。
- インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていればPPPランプは緑点灯しますのでご注意ください。
- 本商品では、PPPoEマルチセッション機能を利用して1回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド（HTMLファイル）」をご覧ください。
- 2セッション以上接続中の場合、PPPランプは橙点灯します。

4-5 フレッツ・スクウェアに接続する

フレッツ・スクウェアへの接続を設定した場合は次の手順で接続してみましょう。

1 Webブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する

2 「フレッツ・スクウェア」のURLを入力し、ページを開く

■フレッツ 光ネクストに接続した場合（NTT東日本／NTT西日本エリアのお客さま）※1

【IPv6をご利用可能なお客さま】
NTT東日本エリアのお客さま：http://flets-east.jp/
NTT西日本エリアのお客さま：http://flets-west.jp/

【IPv6をご利用いただけないお客さま】
NTT東日本エリアのお客さま：http://www.v4flets-east.jp/
NTT西日本エリアのお客さま：http://www.v4flets-west.jp/

※1 開通のご案内に記載されているお客さまIDの頭3文字が「CAF」と記載されているお客さま
設定方法は、「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）の［設定例］－［フレッツ・スクウェアを利用するには］を参照してください。

■Bフレッツに接続した場合（NTT東日本のお客さま）※2

【IPv6をご利用可能なお客さま】
フレッツ・スクウェアv6：http://flets-v6.jp/ ※3

【IPv6をご利用いただけないお客さま】
フレッツ・スクウェア：http://www.flets/ ※4

※2 開通のご案内に記載されているお客さまIDの頭3文字が「COP」と記載されているお客さま
※3 フレッツ・スクウェアv6の接続方法はNTT東日本のホームページ（http://flets.com/）などをご覧ください。
※4 フレッツ・スクウェアの設定は設定ウィザードで行います。
設定ウィザードは、「Web設定」をはじめて行う場合にのみ起動します。設定を変更する場合は、「Web設定」で行ってください。設定方法は、「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）の［設定例］－［フレッツ・スクウェアを利用するには］を参照してください。

お知らせ

●提供条件、接続方法などの詳細はNTT東日本／NTT西日本のホームページなどをご覧ください。
NTT東日本ホームページ：http://flets.com/
NTT西日本ホームページ：http://flets-w.com/

●フレッツ 光ネクストに接続し、IPv6をご利用いただけないお客様向けのURLはフレッツ・スクウェアではなく、サービス情報や速度測定等のサポートメニューを提供するフレッツご利用者専用サイトのURLとなります。

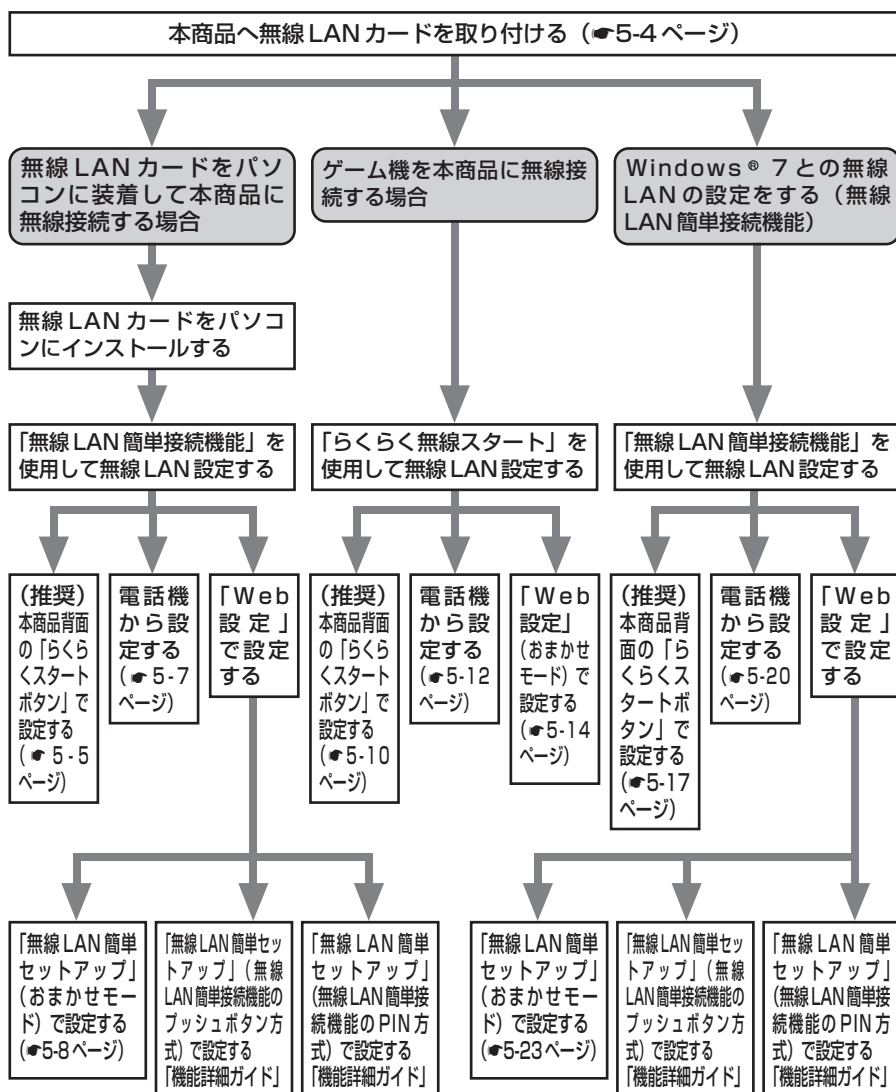
●NTT東日本／NTT西日本エリアではフレッツ 光ネクストサービス情報サイトとなります。（2011年2月現在）

5 無線LANのご利用について

無線LANをご利用になる場合はこちらをご覧ください。

5-1 無線LAN設定の流れ

本商品は、無線LANカードを取り付けることで、「IEEE802.11b/g互換」および「IEEE802.11b/g/n互換」に準拠した無線機能を利用できます。
「IEEE802.11b/g互換」と「IEEE802.11b/g/n互換」は、同時利用が可能です。

本商品で無線LANをご利用になるには次の手順で設定を行ってください。
※無線LANをご利用になるには本商品に装着する無線LANカードとしてSC-40NEが必要です。
　パソコンで無線LANカードをご利用の場合は、パソコンに装着する無線LANカードとしてSC-32KIまたはSC-32HI、SC-32NE、SC-32SEが必要です。

おまかせモードを起動すると、設定する無線LAN端末の設定モードに合わせて、「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」または「らくらく無線スタート」で設定を開始します。本書では、おまかせモードを使用した設定方法を記載しています。

STOP お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定」－［無線LAN設定］、または「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］を参照してください。

5-2 本商品への無線LANカードの取り付け

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-40NE」を装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

●装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
●本商品に装着できる無線LANカードは「SC-40NE」のみです。
●パソコンに無線LANカードを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 無線LANカード「SC-40NE」を拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図のとおり、本商品のランプ側を右にして無線LANカードのランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。

3 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

無線LANカードのPWRランプとACTランプが同時に緑点滅することを確認してください。

無線LANカードを取り外す際のご注意
本商品から無線LANカードを取り外す場合は、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

STOP お願い

●電源を入れたまま無線LANカードの抜き差しを行うと、本商品および装着した無線LANカードが故障する場合があります。
●電源を入れ直す場合は、10秒以上の間隔を空けてください。

5-3 パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、無線LANカードを装着したパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

- 「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
- 電話機から設定する（☛5-7ページ）
- 「Web設定」で設定する
  - ・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-8ページ）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）
  - ※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については機能詳細ガイドの「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後、一定時間たってから設定を行ってください。
- 「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- 本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。
- 本商品以外にはSC-40NEは使用できません。パソコンに装着できる専用無線LANカードはSC-32KIまたはSC-32NE、SC-32SE、SC-32HIのみとなります。

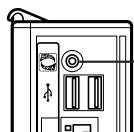
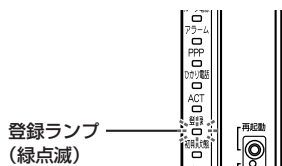
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

5 無線LANのご利用について

（次ページに続く）

2 **本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す**

「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

3 **本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する**

おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

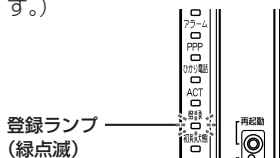
1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

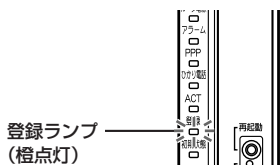
起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

2 電話機のハンドセットを取りあげる

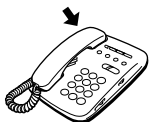
「ツー」という音を確認します。

3 電話機のダイヤルボタンを「⊛⊛⊛⓪⓪」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

! 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-9ページ）

4 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

! 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-9ページ）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

5 電話機のハンドセットを置く

お知らせ

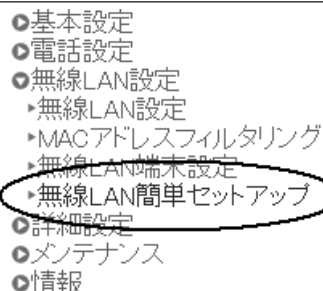
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、☛5-28ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する

無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、［おまかせモード］をクリックしたあと、無線 LAN 接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

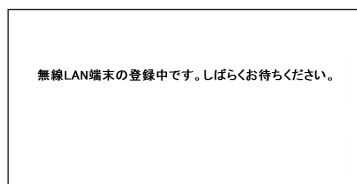
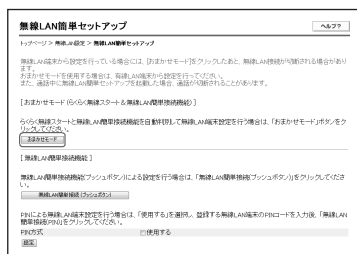
1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開く

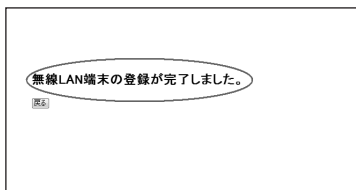
2 メニューの［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］を選択する

基本設定
電話設定
無線LAN設定
無線LAN設定
MACアドレスフィルタリング
無線LAN端末設定
無線LAN簡単セットアップ
詳細設定
メンテナンス
情報

3 パソコンにインストールした無線 LAN カードのユーティリティから「無線 LAN 簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。

4 「Web 設定」の［おまかせモード］をクリックする

無線LAN端末の登録中です。しばらくお待ちください。

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

5 「Web設定」画面に「無線LAN端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了します。

！「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面で「無線LAN端末が見つかりませんでした。」「無線LAN端末を登録できませんでした。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-12ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

お知らせ

●無線LAN簡単セットアップ実行中に「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web設定」画面が正常に表示されない場合があります。

お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定」－［無線LAN設定］、または「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］を参照してください。

5-4 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
●電話機から設定する（☛5-12ページ）
●「Web設定」で設定する
　・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-14ページ）

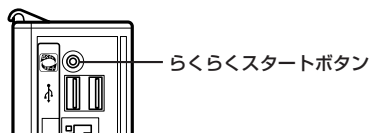
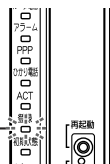
●本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
（ただし、WPA2-PSKは「らくらく無線スタート」ではご利用になれません）
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。（☛5-26ページ）
●接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
●「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。
●「らくらく無線スタート」設定中の無線LANアクセスポイント（本商品）のランプ名称やランプの状態はご利用のゲーム機の説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線LAN設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。
●本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES)」で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線LAN端末を「WPA-PSK（AES)」に設定します。
●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

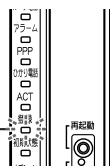
ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後1分以内に次の手順に進んでください。1分以上たつと自動的にキャンセルされます。

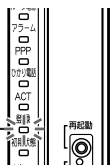
2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す

「らくらく無線スタート」の通信が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-16 ページ）

3 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始します。

※30 秒以内に次の手順に進んでください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-16 ページ）

4 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点灯したら離す

設定が完了すると、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-16 ページ）

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

5 無線ＬＡＮのご利用について

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

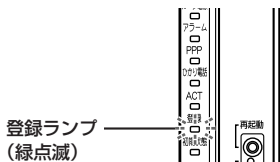
ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後１分以内に次の手順に進んでください。１分以上たつと自動的にキャンセルされます。

2 電話機のハンドセットを取りあげる

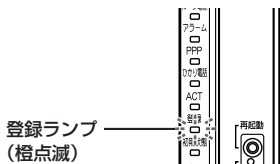
「ツー」という音を確認します。

3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押す

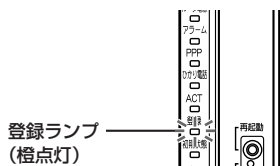
本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-16ページ）

4 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始し、「ププ、ププ」と聞こえます。

※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-16ページ）

5 電話機のダイヤルボタン「㊍」を押す

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

!
設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-16ページ）

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 電話機のハンドセットを置く

お知らせ

●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
●電話機からの設定については、☛5-28ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する

> 無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] をクリックしたあと、無線 LAN 接続が切断される場合があります。
> おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

1. 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］ ※工場出荷時の場合」）を開く

2. メニューの［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］を選択する

   基本設定
   電話設定
   無線LAN設定
   ▸無線LAN設定
   ▸MACアドレスフィルタリング
   ▸無線LAN端末設定
   ▸無線LAN簡単セットアップ
   詳細設定
   メンテナンス
   情報

3. ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

> ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

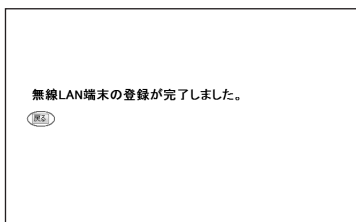
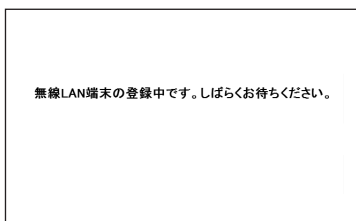
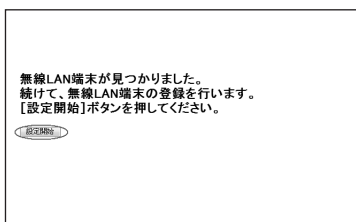
※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。 1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

4. 「Web 設定」の［おまかせモード］をクリックする

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末を探しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。

「Web設定」画面に「無線LAN端末が見つかりませんでした。」と表示された場合は、設定に失敗しています。（☛5-16ページ）

5 ［設定開始］をクリックする

※30秒以内にクリックしてください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

「Web設定」画面に「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」「無線LAN端末を登録できませんでした。」と表示された場合は、設定に失敗しています。（☛5-16ページ）

設定が完了すると「Web設定」画面に「無線LAN端末の登録が完了しました。」と表示されます。

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了します。

（次ページに続く）

!「らくらく無線スタート」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面に「無線LAN端末が見つかりませんでした。」「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。

電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-12ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化をWPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）に設定する機能があります。

自動的に設定されるWPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）の設定値については、「① SSID-1に設定した場合」（☛5-27ページ）を参照してください。

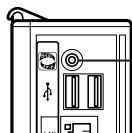
5-5 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。設定が完了するまで、2分程度かかる場合があります。本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

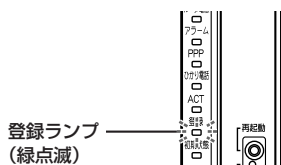
- 「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
- 電話機から設定する（☛5-20ページ）
- 「Web設定」で設定する
  - ・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-23ページ）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）
  - ※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については、「機能詳細ガイド」の「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

- 本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
- 他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7の無線LAN接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
- 「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を接続する場合、本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）」を「しない」に設定する（☛5-26ページ）または各手順に記載されているパソコンの設定をする必要があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- 「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- 本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

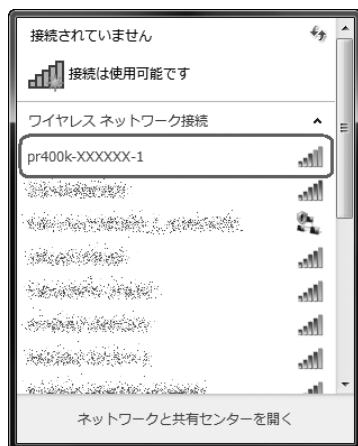
1 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す

「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

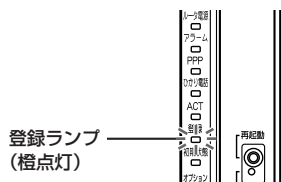
! 設定中にアラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-25ページ）

（次ページに続く）

2 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

3 本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

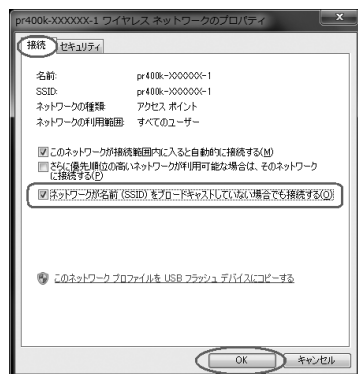
※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか5-27ページを参照してください。

4 ［接続］をクリックする

5 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

設定中にアラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-25ページ）

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

6 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

7 手順3で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

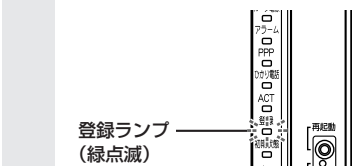
8 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

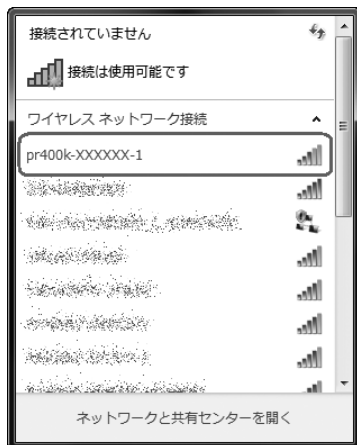
2 電話機のダイヤルボタンを「⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ⓪」と押す

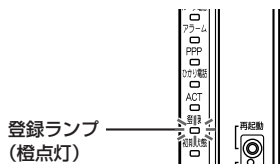
本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

> **!** 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-25 ページ）

3 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

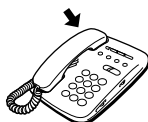
※［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

4 本商品の SSID-1 に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか 5-27 ページを参照してください。

5 ［接続］をクリックする

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

！
設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-25ページ)

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。
おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 電話機のハンドセットを置く

8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 手順4で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

（次ページに続く）

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする

お知らせ

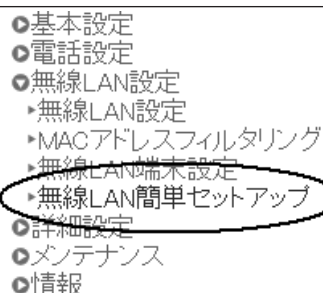
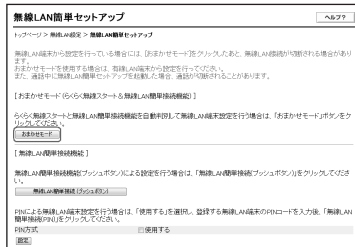
●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
●電話機からの設定については、☛5-28ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web設定」で設定する

> **!**
> 無線LAN端末から設定を行っている場合には、［おまかせモード］をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
> おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開く

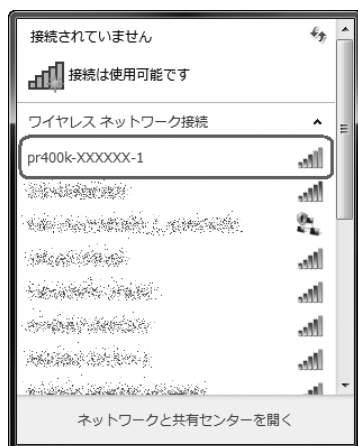
2 メニューの［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する

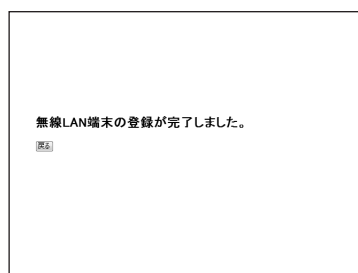
基本設定
電話設定
無線LAN設定
無線LAN設定
MACアドレスフィルタリング
無線LAN端末設定
無線LAN簡単セットアップ
詳細設定
メンテナンス
情報

3 「Web設定」の［おまかせモード］をクリックする

4 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

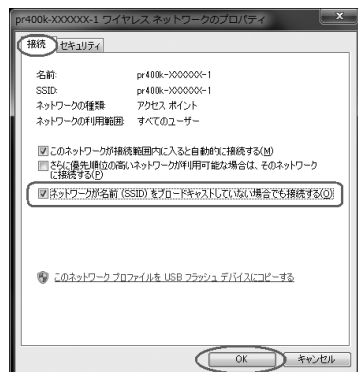
（次ページに続く）

5 本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか5-27ページを参照してください。

6 ［接続］をクリックする

7 「Web設定」画面に「無線LAN端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する

8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 手順5で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする

お知らせ

●無線LAN簡単セットアップ実行中に「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web設定」画面が正常に表示されない場合があります。

お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web設定」－［無線LAN設定］、または「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］を参照してください。

! 「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面で「無線LAN端末が見つかりませんでした。」「無線LAN端末を登録できませんでした。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。
「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-12ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

5-6 電話機から無線LANの設定を変更する

電話機から無線LANの次の設定を変更することができます。
なお、本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

- 無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定
- 無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）
- 無線LAN動作モード

●電話機からの暗号化設定により、「無線ネットワーク名（SSID）」、「暗号化方式」、「事前共有キー（PSK）」、「WEPキー」は上書きされます。

→すでに無線LAN接続されている機器がある場合、本商品と同じ設定に変更する必要がありますのでご注意ください。

1 電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

2 電話機のダイヤルボタンを押す

【無線LAN設定】

機能	設定内容	操作
無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定（※1）	SSID-1の設定	＊＊＊01＊1##
	SSID-2の設定	＊＊＊01＊2##
無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）（※2）	する	＊＊＊02＊1##
	しない	＊＊＊02＊2##
無線LAN動作モード（※3）	IEEE802.11b/g/n互換にする	＊＊＊02＊3##
	IEEE802.11b/g互換にする	＊＊＊02＊4##

※1 無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容については、5-27ページを参照してください。

※2 初期値は、無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）を「しない」になっています。

※3 無線LAN動作モードの初期値は、「IEEE802.11b/g/n互換」です。

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、すべての設定値が反映されます。

3 電話機のハンドセットを置く

【電話機から設定する場合の無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容】

電話機から設定した場合、設定される無線ネットワーク名（SSID）、暗号化方式、事前共有キー（PSK）、WEP キーは次のとおりです。

① SSID-1 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID-1）	pr400k-XXXXXX-1 （XXXXXX は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下 6 桁）
無線の暗号化方式	WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○○ （○○○○○○○○○○○○○は、ランダムに生成した本商品固有の 13 桁の半角英数字）

② SSID-2 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID-2）	pr400k-XXXXXX-2 （XXXXXX は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下 6 桁）
無線の暗号化方式	WEP（128bit）
使用する WEP キー（キーインデックス）	WEP キー 1
WEP キー 1	○○○○○○○○○○○○○ （○○○○○○○○○○○○○は、ランダムに生成した本商品固有の 13 桁の半角英数字）

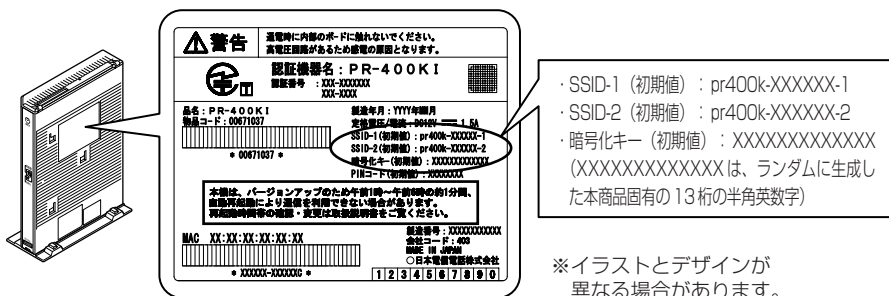
本商品の工場出荷状態では①②の値がそれぞれ SSID-1、SSID-2 に設定されています。

- **事前共有キー（PSK）および WEP キーをお客様自身で設定する場合、第三者に推測されにくいキーを登録してください。また暗号化キーおよび品名紙記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。WEP をご利用の際は、より強固なセキュリティとするため MAC アドレスフィルタリングを併用してください。（詳しくは「機能詳細ガイド」の「MAC アドレスフィルタリング」を参照してください。）**
- **電話機から WEP（128bit）に設定した場合、お客様自身で設定した WEP キー 2 〜 4 は消去されますのでご注意ください。**

※本商品の無線ネットワーク名（SSID）、事前共有キー（PSK）、WEP キーは本商品側面に記載されています。

（次ページに続く）

・SSID-1（初期値）：pr400k-XXXXXX-1
・SSID-2（初期値）：pr400k-XXXXXX-2
・暗号化キー（初期値）：XXXXXXXXXXXXX
（XXXXXXXXXXXXXは、ランダムに生成した本商品固有の13桁の半角英数字）

※イラストとデザインが異なる場合があります。

本商品側面に記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。

お知らせ

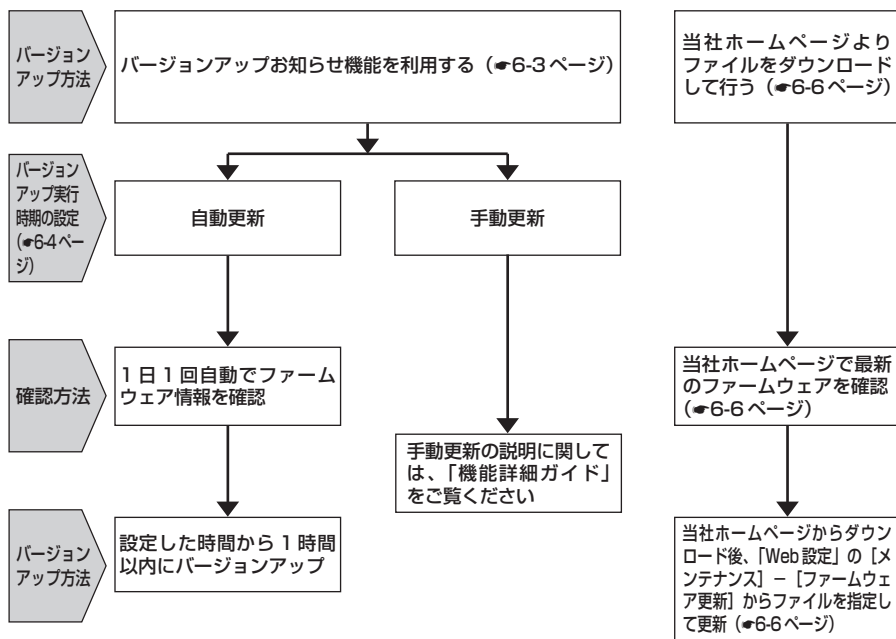
- ●電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- ●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- ●1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- ●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- ●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- ●電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

6　本商品のバージョンアップ

本商品のルータ機能部分のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

6-1 本商品のバージョンアップの流れ

６章では、ルータ機能部分のバージョンアップについて説明しています。（本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。）
本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。
※本商品の初期値は、「自動更新」に設定されています。初期値のままご利用になることをお勧めします。自動更新の説明については 6-4 ページを参照してください。

6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

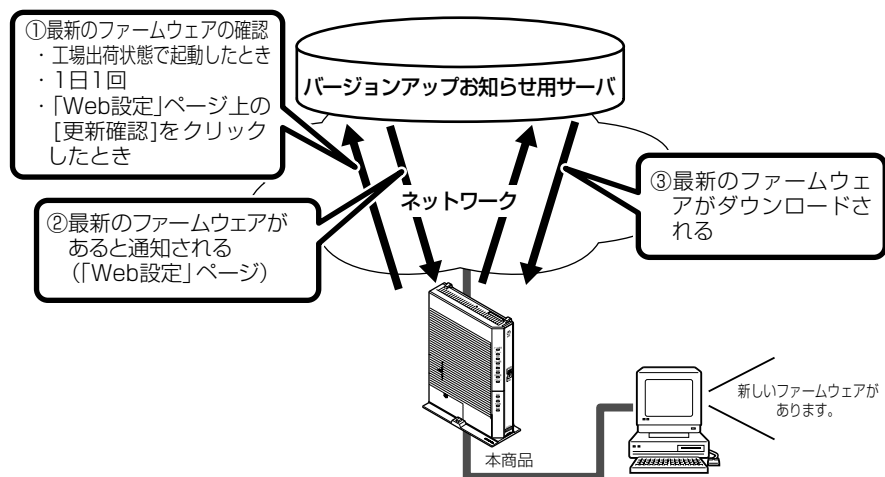
本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。
　※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。
バージョンアップ方法には以下の２とおりの方法があります。

●バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛ 下記）
　・バージョンアップお知らせ機能の機能概要
　・バージョンアップ実行時期を設定する

●当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛6-6 ページ）

バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認する機能です。
最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。
この機能は、本商品を工場出荷状態で起動したとき、定期的に１日１回、および「Web 設定」の画面で［更新確認］をクリックしたときに動作します。（ひかり電話サービス契約、またはインターネット接続の設定が必要です。）
最新のファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

●本商品の「Web 設定」（「トップページ」および［メンテナンス］－［ファームウェア更新］）にて確認する
（「新しいファームウェアがあります。」と表示されます。）

バージョンアップ実行時期を設定する

バージョンアップお知らせ機能で確認した最新のファームウェアに、いつバージョンアップするかを設定します。
最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯に合わせて、自動的にファームウェアの更新を行います。
自動更新は、あらかじめ設定された時間帯（初期値は午前１時〜午前５時のいずれか）にあわせて自動的にファームウェアの更新を行います。
【例】自動更新時間『５：００』と設定されている場合、実際に更新されるのは、『５：００〜５：59』の間のいずれかの時間となります。
ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。

＜「Web 設定」で設定する場合＞

● 「自動更新」に設定する場合

1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する

3 ［アップデート設定］で［自動更新時間］を選択する

4 ［設定］をクリックする

お知らせ

● お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われない場合があります。
● 更新がある場合は指定された時間帯に更新を実行しますが、通話および通信状況によっては更新時間がずれることがあります。

＜電話機で設定する場合＞

●ファームウェア更新種別を選択する

1 電話機のハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する

2 電話機のダイヤルボタンを
「㊉ ㊉ ㊉ ⑧ ⑧ ファームウェア更新種別 ㊉ 設定値 ⊞ ⊞」と押す

ファームウェア更新種別		設定値
②	自動更新	24時間を2桁で入力します。 （00～23の2桁） 例）9時の場合：⓪ ⑨

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

3 電話機のハンドセットを置く

お知らせ

●電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
●1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
●間違った番号をダイヤルすると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
●ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、無線LAN設定などの他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
●電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定がご利用になれません。
●お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われない場合があります。
●更新がある場合は指定された時間帯に更新を実行しますが、通話および通信状況によっては更新時間がずれることがあります。
●「ファームウェア更新種別」を「手動更新」に設定している場合に、最新のファームウェアが提供されていると、電話機のハンドセットを取りあげたときに、「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音の前に聞こえます。この場合も通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。通話終了後、「㊉ ㊉ ㊉ ① ①」をダイヤルしてファームウェアのバージョンアップを行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web 設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

当社ホームページ　http://web116.jp/ced/（NTT 東日本）
　　　　　　　　　http://www.ntt-west.co.jp/kiki/（NTT 西日本）

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあと、更新を行います。
以下の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

2 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開く

3 メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する

- 基本設定
- 電話設定
- 無線LAN設定
- 詳細設定
- メンテナンス
  - 機器設定用パスワードの変更
  - 設定値の保存＆復元
  - 設定値の初期化
  - ファームウェア更新
  - PINGテスト
  - 機器再起動
  - UPnP NAT情報消去
  - ストレージ機器メンテナンス
- 情報

4 ［ファームウェアファイル］の［参照］をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

［現在のバージョン］は、「Web 設定」ページメニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］の［現在のバージョン］現在のファームウェアバージョンに表示されています。

ファームウェア更新　ヘルプ？
トップページ ＞ メンテナンス ＞ ファームウェア更新
［現在のバージョン］
現在のファームウェアバージョン　xx.xx.xxxx
［ファイル指定］
ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。
ファームウェアファイル　参照...
ファームウェア転送後、自動的にフラッシュメモリへの書き込みを行います。書き込み中を表すランプの点灯が終わるまでは機器の電源を切らないでください。また、バージョンアップ中はWebアクセスなどの操作も行わないでください。
フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。
更新
［アップデート設定］
更新がある場合は指定された時間帯に更新を実行します。
通話および通信状況によっては更新時間がずれることがあります。
自動更新時間　03:00
設定
［手動アップデート］
ファームウェア更新情報　新しい更新はありません。
更新確認　ファームウェア更新

5 ［更新］をクリックする

ファームウェア更新　ヘルプ？
トップページ ＞ メンテナンス ＞ ファームウェア更新
［現在のバージョン］
現在のファームウェアバージョン　xx.xx.xxxx
［ファイル指定］
ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、全角文字及び半角カナが使用できないことがあります。
ファームウェアファイル　参照...
ファームウェア転送後、自動的にフラッシュメモリへの書き込みを行います。書き込み中を表すランプの点灯が終わるまでは機器の電源を切らないでください。また、バージョンアップ中はWebアクセスなどの操作も行わないでください。
フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、機器が動作しなくなります。
更新
［アップデート設定］
更新がある場合は指定された時間帯に更新を実行します。
通話および通信状況によっては更新時間がずれることがあります。
自動更新時間　03:00
設定
［手動アップデート］
ファームウェア更新情報　新しい更新はありません。
更新確認　ファームウェア更新

6 ［再表示］をクリックする

ひかり電話ランプが緑点灯していることを確認し、［再表示］をクリックしてください。

ファームウェア更新

【ご注意】
ファームウェア更新中は本商品の電源を切らないでください。
またWebの操作も行わないでください。

ファームウェア書き込み中は、本商品の「アラームランプ」(赤)、「初期状態ランプ」(橙)が点灯します。
数分後にファームウェア書き込みが完了し、本商品の「アラームランプ」(赤)、「初期状態ランプ」(橙)が
消灯してファームウェア更新による再起動が行われます。
再起動完了は、ランプ全点灯後にいったん消灯し、その後「登録ランプ」(緑)が点灯することを確認してください。

ファームウェア更新による再起動後、[再表示]ボタンをクリックして画面を再表示してください。

再表示

STOP **お願い**

- ●本商品は自動的に最新のファームウェアの有無を確認し、最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードを行います。回線の接続状態などにより、ダウンロードに失敗した場合は、ファームウェア更新を実行するときにダウンロードも行います。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービスのご契約、またはインターネット接続の設定が必要です。
- ●本商品に最新のファームウェアがダウンロードされた状態で、本商品を再起動すると、自動的に最新のファームウェアに更新されます。
- ●本商品を工場出荷状態で起動したときに、最新のファームウェアが提供されている場合は、自動的に最新のファームウェアへ更新されます。最新のファームウェアをダウンロード後、本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービスのご契約が必要です。
- ●緊急を要するファームウェアが提供された場合は、ファームウェア更新種別の設定にかかわらず、ファームウェア更新が行われることがあります。本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。
- ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、ファイルを指定して本商品のバージョンアップを行うことができません。ひかり電話使用終了後、一定時間たってから再度、ファームウェアの更新を行ってください。
- ●バージョンアップを行うと本商品が再起動し、通信は切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN 側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- ●ファームウェアのバージョンアップ中は、ひかり電話をご利用いただけません。
- ●本商品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、無線 LAN 設定などの他の設定を実行中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
- ●ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）は本商品のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。その後、アラームランプと初期状態ランプは消灯し、通常のランプ表示に戻ります。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービス契約または、インターネット接続の設定が必要です。
- ●ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。
- ●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
- ●このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- ●バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- ●本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。
最新の取扱説明書などが必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。

6-4 ファームウェア情報を確認する

本商品に接続されたパソコンのWebブラウザで「機器情報」ページ（「http://ntt.setup/info/」もしくは「本商品のIPアドレス［http://192.168.1.1/info/］※工場出荷時の場合」）を開くと、ユーザー名やパスワードを入力せずに、本商品の現在のファームウェアバージョンや更新種別などを確認できます。

本商品のファームウェアバージョン、ファームウェア更新種別を確認する

1. **Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/info/」もしくは「本商品のIPアドレス［http://192.168.1.1/info/］※工場出荷時の場合」を入力し、「機器情報」ページを開く**

2. **［現在のバージョン］に本商品の現在のファームウェアバージョン、［更新種別］に現在設定されている更新種別が表示されているのを確認する**

3. **続けて本商品の設定をする場合は、[トップページへ戻る]をクリックする**

   「Web設定」画面のトップページが表示されます。
   このとき、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。詳細は「3-4　パソコンからひかり電話の設定をする」（☛3-18ページ）をご覧ください。

7 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

7-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面のルータ電源ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（a 参照）

↓はい

本商品前面のアラームランプは消灯していますか？ →いいえ（b 参照）

↓はい

本商品前面の認証ランプ、UNI ランプ、光回線ランプ、電源ランプはすべて緑点灯していますか？ →いいえ（c 参照）

↓はい

本商品前面の ACT ランプが緑点灯していますか？ →いいえ（d 参照）

↓はい

本商品前面の登録ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（e 参照）

↓はい

本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？ →いいえ（f 参照）

↓はい

ひかり電話が使えますか？ →いいえ（g 参照）

↓はい

本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（h 参照）

↓はい

パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ →いいえ（i 参照）
（IP アドレスの確認方法は、4-4 ページ、8-4 ページ、8-5 ページをご覧ください）

↓はい

Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？ →いいえ（j 参照）

↓はい

設定後、本商品前面の PPP ランプが緑点灯していますか？ →いいえ（k 参照）

↓はい

インターネットに接続できましたか？ →いいえ（l 参照）

↓はい

上記以外の症状が発生していますか？ →いいえ（m 参照）

a.本商品前面のルータ電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ルータ電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.本商品前面の認証ランプ、UNIランプ、光回線ランプ、電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
光回線ランプが橙点滅している	●ONU機能のファームウェアのダウンロード中です。 「電源ランプ」が赤点滅し、緑点灯になるまでお待ちください。
電源ランプが赤点滅している	●ONU機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。本商品再起動後、緑点灯になります。
電源ランプが消灯または赤点灯している 光回線ランプが消灯または橙点灯している UNIランプが消灯している 認証ランプが消灯している	●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

d.本商品前面のACTランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ACTランプが消灯する	●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

e.本商品前面の登録ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
登録ランプが消灯または緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。数回再起動を行うことがございますが、電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。 ●ひかり電話開通日前に本商品を接続した場合には登録ランプが消灯または緑点滅します。ひかり電話が開通するまでの間はインターネット接続できません。また「Web 設定」で設定を行うことはできません。
登録ランプが赤点灯している	●自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	●自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ●初期状態ランプが橙点滅しているか確認してください。初期状態ランプが橙点滅している場合は、LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。

f.本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

g.ひかり電話が使えない

症　状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。「接続可否番号一覧」（☛3-4 ページ）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などである場合、または電話機の ACR 機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6 分～ 10 分程度ご利用できない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を再度入れ直してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。

h.本商品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブル（付属品／緑色）が本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属している LAN ケーブル（付属品／緑色）をお使いください。1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。 ●再度本書の「2-1　設置・接続」（☛2-2 ページ）をご覧のうえ配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ●「Web 設定」の［詳細設定］－［高度な設定］で［LAN 側 MDI/MDI-X モード］を「自動設定」に設定してみてください。（初期値は「MDI-X 固定」です。） ●パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。

i.パソコンの IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「8-1　パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧のうえ再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.「8-1　パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

j.Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「8-1　パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧のうえ確認してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。（☛4-5 ページ） ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。（☛4-5 ページ） ●複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web 設定」ページは開きません。Web ブラウザのアドレスに、プロバイダから本商品に割り当てられたグローバル IP アドレス（本商品の WAN 側 IP アドレス）（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない (つづき)	●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。 ●本商品の設定は、ひかり電話の開通日以降に行えます。本商品の登録ランプが緑点灯することを確認してください。 ●本商品の［ポートセパレート］を「使用する」に設定していると、本商品に無線 LAN 接続された端末で「Web 設定」ページを表示できない場合があります。本商品の「ポートセパレート」の設定を確認してください。詳細は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。 ●お客様のご利用環境によっては、「http://ntt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページが表示されない場合があります。 表示されない場合は、「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」を入力してください。
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されないまたは操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript」を有効に設定してください。(☛4-6 ページ、8-6 ページ) ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(☛1-14 ページ) をご覧のうえ確認してください。

k.本商品前面の PPP ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
PPP ランプが消灯している	●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で、接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先選択］または［接続先名］、［接続モード］をクリックし、接続したい接続先の情報（接続先ユーザ名、接続パスワード）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先選択］または［接続先名］、［接続モード］をクリックし、［接続モード］を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ランプは消灯したままです。 無通信時には PPP ランプが消灯しています。 ●PPPoE ブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは緑点灯しません。

l.インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ（DNS サーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNS サーバ）アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先選択］または［接続先名］、［接続モード］をクリックし、DNS サーバアドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認します。(☛4-5 ページ) ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で、接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の「状態」が「接続中」となっていることを確認してください。

m.上記以外の症状が発生している

症　状	原因と対策
上記以外の症状が発生している	●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。(☛6-1 ページ) ●本商品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

7-2 ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	● 1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。 ●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows ® 7、Windows Vista ® および Windows ® XP の場合〉 ①［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」または「ipconfig」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5/10.6 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［Ethernet］を選択し、［詳細...］をクリックして［TCP/IP］タブをクリックします。 ③［DHCP リースを更新］をクリックします。 ④IPv4 アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。
オプションランプが緑色に点灯している	●ONU 機能以外が停止しております。ひかり電話機能、ルータ機能、無線 LAN 機能等のご利用、及び「Web 設定」へのアクセスはできません。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。 起動後、「8-1　パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧のうえ再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.次の手順で IP アドレスを取り直してください。 〈Windows ® 7、Windows Vista ® および Windows ® XP の場合〉 ①［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」または「ipconfig」と入力して、［Enter］を押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5/10.6 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［Ethernet］を選択し、［詳細...］をクリックして［TCP/IP］タブをクリックします。 ③［DHCP リースを更新］をクリックします。 ④IPv4 アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。
初期状態ランプが橙点滅する	●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。
「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］設定変更時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 ［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。
「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先選択］または［接続先名］、［接続モード］をクリックして、［IP アドレス］の設定を変更する時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）が LAN の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、［接続先設定］で［接続先選択］または［接続先名］、［接続モード］をクリックして、IP アドレスを変更して設定してください。

症　状	原因と対策
「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される	●［接続先設定］の［状態］に、LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、LAN の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●［接続先設定］の［状態］に、ひかり電話または他の接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先選択］または［接続先名］、［接続モード］をクリックして、重複している接続先の IP アドレスを変更して設定してください。
Web 設定できない	●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。 ●「接続回線検索中」と表示された場合は、登録ランプが緑点灯することを確認したあと、Web ブラウザを閉じて、再度ログインを行ってください。（☛4-8 ページ）
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「㊍㊍㊍①①」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。（☛6-5 ページ）
ハンドセットを置いたあとすぐに着信音が鳴る	●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。 ●キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
ひかり電話の音声品質が安定しない	●「Web 設定」の［電話設定］－［ひかり電話共通設定］の［音質優先モード］を「優先」または「最優先」に設定します。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	●本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しているか確認してください。ひかり電話ランプが消灯、登録ランプが赤点滅している場合は、ひかり電話のご利用ができませんので、再度、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のひかり電話ランプ、登録ランプが緑点灯します。

症　状	原因と対策
電話機からの設定がエラーとなる	●ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中のときは、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機 1、2 ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。アナログポート無効化とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。 IP 端末の機能および「通知番号」の設定方法は、IP 端末の取扱説明書などをご覧ください。
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。ただし、一定時間使用中の場合は、ファームウェアの更新は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。(☛6-6 ページ) ●本商品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	●ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定に関わらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅する	●「無線 LAN 簡単セットアップ」に失敗しています。 「「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。(☛7-12 ページ)
突然、再起動した	●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。

症　状	原因と対策
無線 LAN 通信ができない	●暗号化方式で WEP をご利用になる場合、使用する WEP キー（キーインデックス）および WEP キー（WEP キー 1 ～ 4）の設定は本商品と接続する無線 LAN 端末との間で同じ設定としてください。（☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［使用する WEP キー（キーインデックス)]） ●本商品の拡張カードスロットに無線 LAN カードが正しく装着されているか「5-2　本商品への無線 LAN カードの取り付け」(☛5-4 ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●「WEB 設定」の［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］で本商品と接続する無線 LAN 端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。使用する無線 LAN 端末によっては、12ch、13ch は使用できない場合があります。 自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 ●MAC アドレスフィルタリングが「使用する」になっている。本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスエントリに登録する必要があります。（☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］－［接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレス編集］） ●本商品に IEEE802.11n 方式対応の無線 LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK(TKIP)または WPA2-PSK（TKIP）に設定していると接続できない場合があります。無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK（AES）または WPA2-PSK（AES）に変更するか、動作モードを IEEE802.11g 方式または IEEE802.11b 方式に変更して使用してください。 ●上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない	●本商品の拡張カードスロットに無線 LAN カードが正しく装着されていない →「5-2　本商品への無線 LAN カードの取り付け」(☛5-4 ページ）をご覧のうえ、確認してください。 ●MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている →本商品の MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線 LAN 簡単セットアップ」の設定ができません。「Web 設定」の［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］で本商品の MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●本商品の使用する WEP キー（キーインデックス）が WEP キー 1 になっていない →無線 LAN 端末で WEP キー 2 ～ 4 は対応していない場合があります。「Web 設定」の［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［マルチ SSID 設定（■ SSID-2 を選択した場合)］の［使用する WEP キー（キーインデックス)］で本商品の無線の暗号化設定を確認してください。 ●本商品と無線 LAN 端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線 LAN 端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ●本商品に他の設定を行っている →本商品の設定中は「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定は行えません。 他の設定が終了してから行ってください。 ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間内に設定を行っている →ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定は行えない場合があります。ひかり電話使用後一定時間たってから行ってください。

症　状	原因と対策
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない（つづき）	●登録ランプが緑点灯していない →登録ランプが緑点灯していない場合は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定は行えません。「7-1　設置に関するトラブル」（☛7-4 ページ）を参照してください。 ● 2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している →2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している場合は、「無線 LAN 簡単セットアップ」の設定に失敗します。1 台ずつ設定を行ってください。 ● Windows® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンが接続できない →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）」を「しない」に設定する（☛5-26 ページ）、またはパソコンで、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定（☛5-19、5-22、5-25 ページ）を行ってください。
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている →本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）に設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。 自動的に設定される WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）の設定値については、「① SSID-1 に設定した場合」（☛5-27 ページ）を参照してください。 ●インターネットに接続できていない →本商品前面の PPP ランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線 LAN 簡単セットアップ」で無線 LAN 設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「7-1　設置に関するトラブル」（☛7-2 ページ）を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 ●本商品の「無線ネットワーク名（SSID）を隠蔽する（ANY 接続拒否）」を「する」に設定し、SSID-1 を「＊＊＊＊＊＊」に設定している →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）を隠蔽する（ANY 接続拒否）」を「する」に設定し、SSID-1 を「＊＊＊＊＊＊」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。「無線ネットワーク名（SSID）を隠蔽する（ANY 接続拒否）」を「しない」に設定するか、SSID-1 を「＊＊＊＊＊＊」以外に設定してください。 ●本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している →本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。SSID-2 を「使用する」に設定してください。 ●本商品に無線の暗号化が WPA2-PSK に設定されている →本商品の無線の暗号化が WPA2-PSK に設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線 LAN 動作モードが IEEE802.11n 方式または IEEE802.11g 方式に対応したゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-1 の無線の暗号化設定を確認してください。無線 LAN 動作モードが IEEE802.11b 固定のゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-2 の無線の暗号化設定を確認してください。

8 付録

8-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

・Windows® 7/Windows Vista® をご利用の場合
☛4-3 ページをご覧ください。
・Windows® XP をご利用の場合
☛8-3 ページをご覧ください。
・Mac OS X をご利用の場合
☛8-5 ページをご覧ください。

パソコンに設定されている IP アドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。
本商品の IP アドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）の「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］をご覧ください。

■ Web ブラウザの設定（Windows® のみ）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

・Windows® をご利用の場合
☛4-5 ページをご覧ください。

■ JavaScript の設定確認

Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript の設定を有効にする必要があります。

・Windows® をご利用の場合
☛4-6 ページをご覧ください。
・Mac OS をご利用の場合
☛8-6 ページをご覧ください。

Windows® XP をご利用の場合

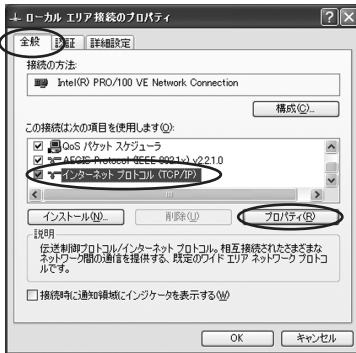
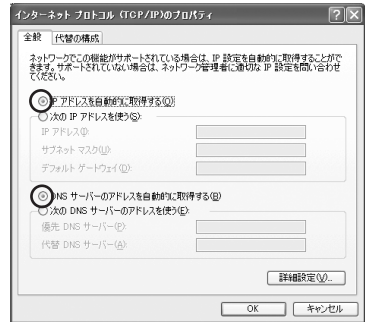
■パソコンのネットワークの設定をする

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

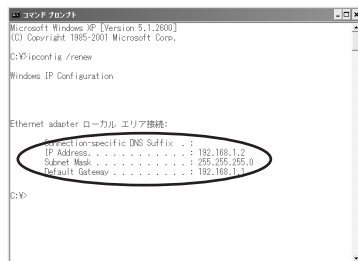
●本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記載しています。

■ IP アドレスの確認－パソコンとの接続を確認する

1. 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2. パソコンの［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3. ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」または「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押す

4. ［Ethernet adapter ローカルエリア接続：］が表示され、IP アドレス（IP Address）が［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxx は 2～254 の数字です）

5. 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す

Mac OS X（10.5/10.6）をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［Ethernet］を選択し、［IPv4 の構成］または［構成］を［DHCP サーバを使用］にする

3 ［DNS サーバ］と［検索ドメイン］を空白にして、［詳細...］をクリックする

4 ［TCP/IP］タブをクリックし、［DHCP クライアント ID］を空白にして、［OK］をクリックする

5 ［適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IP アドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

3 ［Ethernet］を選択し、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxx は 2 ～ 254 の数字です）

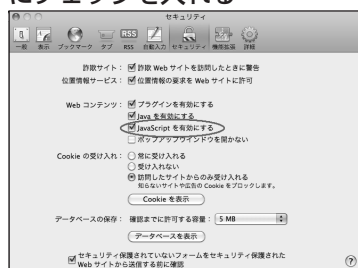
4 ウィンドウを閉じる

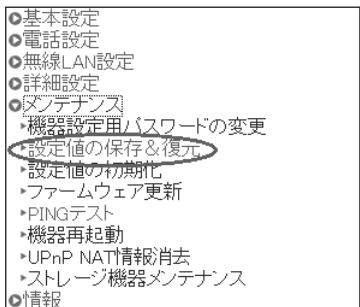
JavaScriptの設定をする（Mac OS）

Webブラウザで設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。以下はMac OSをご利用の場合です。Windowsをご利用の場合は、4-6ページをご覧ください。

※Webブラウザの設定で、本商品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS X 10.6でSafari 5.0を使用している場合の例です。

1. Safariを起動する
2. メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする
3. ［セキュリティ］をクリックする
4. ［JavaScriptを有効にする］にチェックを入れる

5. ウィンドウを閉じる

8-2 ひかり電話用無線IP端末などの設定をする

本商品の無線LANの設定情報を作成し、ひかり電話用無線IP端末などの無線LANの設定を行う際にご利用になれます。詳細は「超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

8-3 設定値の保存・復元

「Web 設定」で現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくと、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することも可能です。

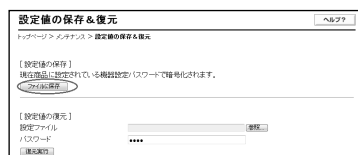
設定値の保存

1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス[http://192.168.1.1/]※工場出荷時の場合」）を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する

▶基本設定
▶電話設定
▶無線LAN設定
▶詳細設定
▶メンテナンス
- 機器設定用パスワードの変更
- 設定値の保存＆復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PINGテスト
- 機器再起動
- UPnP NAT情報消去
- ストレージ機器メンテナンス

▶情報

3 ［ファイルに保存］をクリックする

［設定データの保存を行います。］と表示された場合は、［OK］をクリックします。
ブラウザの情報バーにセキュリティ保護の警告が表示された場合は、オプションを表示して［ファイルのダウンロード］を選択します。

4 ［保存］をクリックした後、ファイルの保存先を指定し、［保存］をクリックする

5 「ダウンロード完了」画面が表示された場合は、[閉じる]をクリックする

!
ファイルは、自動的に機器設定用パスワードを使用してデータを暗号化して保存されます。
機器設定用パスワードは「設定値の復元」を行う場合に必要となります。

設定値の復元

1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス［http://192.168.1.1/］※工場出荷時の場合」）を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する

- 基本設定
- 電話設定
- 無線LAN設定
- 詳細設定
- メンテナンス
  - 機器設定用パスワードの変更
  - 設定値の保存＆復元
  - 設定値の初期化
  - ファームウェア更新
  - PINGテスト
  - 機器再起動
  - UPnP NAT情報消去
  - ストレージ機器メンテナンス
- 情報

3 ［参照］をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する

4 ［開く］をクリックする

5 パスワードを入力する

「設定値の保存」で使用した機器設定用パスワードを入力します。

6 ［復元実行］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

8 ［再表示］をクリックする

ひかり電話ランプが緑点灯していることを確認し、［再表示］をクリックしてください。

お知らせ

- 機器設定用パスワードは復元されません。
- 以下の設定は復元されない場合があります。復元後に必ず設定内容を確認してください。
  - ・無線ネットワーク名（SSID）
  - ・事前共有キー（PSK）
  - ・ WEP キー
  - ・無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）
  - ・ファームウェア更新種別
- 本商品を再起動すると、通話・通信が切断されます。
- 「設定値の復元」を行う場合に必要なパスワードは、「設定値の保存」を行った時点で使用していた機器設定用パスワードです。
- 設定値を復元するときは、他機種のバックアップファイルを指定しないでください。
  正しく復元できません。
- ご契約の電話番号が変更・追加・削除になった場合、変更・追加・削除以前に保存した設定ファイルは使用しないでください。設定内容が正しく復元できない場合があります。
- お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際に時間がかかる場合があります。

8
付録

8-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合、機器設定用パスワードを忘れた場合、IP アドレス設定誤りにより本商品にアクセスできなくなった場合などでは、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）の「Web 設定」の［メンテナンス］－［設定値の初期化］をご覧ください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了すると初期状態ランプは消灯します。

■設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1. **本商品の初期化スイッチを押した状態を保つ**
   3 番目の手順が完了するまで、押し続けます。
2. **再起動スイッチを押して離す**
   本商品前面の全ランプが点灯し、ルータ電源ランプ、ACT ランプ以外が消灯します。（※ 1）
3. **本商品前面の初期状態ランプが橙点灯したら、初期化スイッチを離す**
   起動後、初期状態ランプが橙点灯になれば、初期化完了です。

※ 1　ここでのランプとはルータ電源ランプ、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、ACT ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプのことを指します。
※　初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
故障の原因となることがあります。

お知らせ

●本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる場合は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。
●一度初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻ります。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくことをお勧めします。「8-3　設定値の保存・復元」（☛8-8 ページ）を参照してください。

8-5 ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について

050IP 電話との同時利用方法について

ひかり電話と050IP電話サービスを同時にご利用いただく場合

プロバイダが提供するIP電話サービス（050番号を利用するIP電話サービス。以下、「050IP電話」と略します）とひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず次ページの内容をご確認ください。

①IP電話アダプタをご利用の場合　　機器構成 ①

※IP電話アダプタ（VoIPアダプタ）、IP電話ルータ（Web Caster V130）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

②IP電話ルータ・IP電話対応セキュリティルータをご利用の場合　　機器構成 ②

※IP電話ルータ（Web Caster V100／V110／V120／V130）、IP電話対応セキュリティルータ（Web Caster X400V）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

【ご利用上の注意事項】

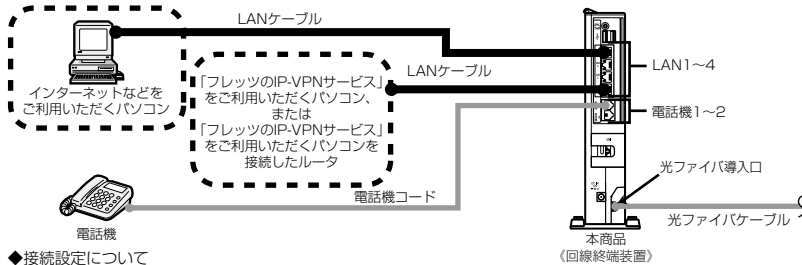
前ページの構成でひかり電話と050IP電話をご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。ご利用の機器構成ごとにご注意いただく事項が異なりますので、下記「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、「★」が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

対象となる機器構成		注意事項
①	②	
	★	**（1）インターネット接続の設定方法に注意してください。** インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど）は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータにて行ってください。本商品には設定しないでください。 インターネット接続の設定を行う インターネット接続の設定は行わない パソコン IP電話ルータまたは IP電話対応セキュリティルータ 本商品《回線終端装置》 ※インターネット接続の方法は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータの設定ガイドをご覧ください。 ※パソコンはIP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータに接続してください。（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。）
★	★	**（2）本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部がご利用いただくことができません。** 050IP電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP電話アダプタおよびIP電話ルータ／IP電話対応セキュリティルータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。 本商品の［ファームウェア更新種別］を「自動更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。 ※①の機器構成の場合、IP電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみIP電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成） ※②の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成）
★	★	**（3）「ひかり電話」と「050IP電話」の使いわけにご注意ください。（050IP電話ご利用時）** 050IP電話で接続できない番号（110・119など）以外は、すべて050IP電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他の050IP電話ご利用上の注意については、IP電話アダプタおよびIP電話ルータ／IP電話対応セキュリティルータの取扱説明書などをご確認ください。（「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください。）
	★	**（4）本商品の「PPPoEブリッジ」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっております。本機能の設定変更は行わないでください。
★		**（5）本商品の「UPnP機能」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「UPnP機能」が「使用する」設定となっております。前ページの機器構成①にてご利用いただく場合は、本機能の設定変更は行わないでください。

「フレッツの IP-VPN サービス」※との同時利用方法について

「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」、「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。

※「フレッツのIP-VPNサービス」とはBフレッツでご利用のお客様専用のサービスの「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」、「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」および、フレッツ光ネクストでご利用のお客様専用サービスの「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、1台のルータ・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。

◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【1台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合

「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルータを、本商品の下部（LANポート）に接続し、そのブロードバンドルータ下部（LANポート）に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

②インターネットなどの接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。

【ご利用上の注意事項】

- 本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっておりますので、本機能の設定変更は行わないでください。
- セッション数の上限は、お客様のご契約状況により異なります。

8-6 電話機からの設定一覧

電話機から設定する場合の機能番号一覧を紹介します。
本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

【ひかり電話の設定】
電話機からひかり電話の設定ができます。

●ひかり電話共通設定

機能番号	設定項目 ⊛ 機能番号 ⊛	設定値・設定内容	操作終了
00	音質優先モード		
	⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⓪ ⊛ ⓪ ⓪ ⊛	①：なし	##
		②：優先	
		③：最優先	
01	優先着信ポート		
	⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⓪ ⊛ ⓪ ① ⊛	①：アナログ端末（電話機 1）	##
		②：アナログ端末（電話機 2）	
		③：無効	
02	アナログポート無効化		
	⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⓪ ⊛ ⓪ ② ⊛	①：この設定を行う電話機と異なる電話機ポートを利用できなくする	##
		②：電話機ポート 1、2 ポート共利用可能とする	

●内線設定（アナログ端末）

機能番号	設定項目　ポート番号 ＊ 機能番号 ＊	設定値・設定内容		操作終了
91	ナンバー・ディスプレイ			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 91 ＊	1：使用する 2：使用しない		##
92	モデムダイヤルイン			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 92 ＊	1：使用する 2：使用しない		##
93	割込音通知			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 93 ＊	1：使用する 2：使用しない		##
94	着信番号			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 94 ＊	（着信番号）		##
95	指定着信機能			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 95 ＊	（着信番号）＊（指定着信番号）		##
96	キャッチホン・ディスプレイ			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 96 ＊	1：使用する 2：使用しない		##
97	ダイヤル桁間タイマ			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 97 ＊	4：４秒 5：５秒 6：６秒 7：７秒 8：８秒		##
98	エコー・キャンセラ			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 98 ＊	1：使用する 2：使用しない		##
00	通知番号			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 00 ＊	（通知番号）		##
01	内線番号			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 01 ＊	（内線番号）		##
02	着信音選択			
	＊＊＊99 1または2 ＊ 02 ＊	（着信番号）＊	1 IR 2 SIR	##

8

付録

【無線LANの設定】
電話機から無線LANの設定を変更することができます。

●無線LANの設定を変更する

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
─	無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定		
	⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ① ⊛	①：SSID-1の設定 ②：SSID-2の設定	(#)(#)
─	無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）		
	⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ② ⊛	①：する ②：しない	(#)(#)
─	無線LAN動作モード		
	⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ② ⊛	③：IEEE802.11b/g/n互換にする ④：IEEE802.11b/g互換にする	(#)(#)

●らくらく無線スタート、無線LAN簡単接続機能を起動する

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
─	おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）の起動		
	⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ⓪	─	─

【バージョンアップの設定】
バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップすることができます。

●ファームウェア更新種別を設定する

機能番号	設定項目	更新種別 ⊛	設定値・設定内容	操作終了
─	自動更新			
	⊛ ⊛ ⊛ ⑧ ⑧	②：一定量データ通信監視有効 ⊛ ③：一定量データ通信監視無効 ⊛	⓪⓪～②③の2桁 (24時間を2桁で入力します。)	(#)(#)
─	手動更新			
	⊛ ⊛ ⊛ ⑧ ⑧	⑨ ⊛	①：再起動更新「有効」 ②：再起動更新「無効」	(#)(#)

●バージョンアップ方法（「手動更新」の場合）

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
─	バージョンアップ		
	⊛ ⊛ ⊛ ① ①	─	─

8-7 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

用語	解説
AES	Advanced Encryption Standard の略。 WPA-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。AES は TKIP や WEP と比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY 接続拒否	無線 LAN 端末からの ANY 接続（どの無線 LAN アクセスポイントにも接続できる特殊な SSID）を拒否する機能。
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocol の略。 PPP で接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAP と異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴がある。 RFC1994 で仕様が公開されている。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP プロトコルを使用する各機器は、固有の IP アドレスを持つ必要がある。DHCP は、IP アドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合、IP アドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IP アドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCP クライアント	DHCP サーバにより IP アドレスを割り当てられるシステム。
DHCP サーバ	DHCP を用いて IP アドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DMZ	DeMilitarized Zone の略。 グローバル側からのアクセスを特定のホストに転送する機能。ネットワークゲームなどを使用するときに用いる。
DNS	Domain Name System の略。 TCP/IP ネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際のアドレスを関連付けるシステム。
DNS サーバ	ホスト名と IP アドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせに IP アドレスを通知するサーバ。
IEEE802.11b	無線 LAN の規格の 1 つ。 2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 11Mbps。
IEEE802.11g	無線 LAN の規格の 1 つ。 2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 54Mbps。
IEEE802.11n	無線 LAN 規格の 1 つ。 2.4GHz/5GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 300Mbps（アンテナ 2 本利用時）。本商品では、2.4GHz 帯のみ利用可能。

（次ページに続く）

用語	説明
IP	Internet Protocolの略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IPアドレスにより相手先を判断する。
IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bitの値をもち、8bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。（例：192.168.1.10）
IPマスカレード	ポート番号を変換し、1つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換する機能。
LAN	Local Area Networkの略。 1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LANカードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MACアドレスフィルタリング	無線LAN通信においてサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくない無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。
ONU	光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持つ。
PAP	Password Authentication Protocolの略。 PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。RFC1334で仕様が公開されている。
PING	Packet InterNet Groperの略。 TCP/IPネットワークにおいてパケットの送受信テストを行うコマンド。ネットワーク機器が接続されているかどうかの確認に利用する。
PPP	Point to Point Protocolの略。 遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	Point to Point Protocol over Ethernetの略。 ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。Ethernet上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者の接続先ユーザ名や接続パスワードのチェックを行う。
SIP	Session Initiation Protocolの略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つ。RFC3261で仕様が公開されている。

用語	説明
TCP	Transmission Control Protocolの略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 WPA-PSKで使用する暗号化方式の1つ。TKIPは、WEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用している。
UPnP	Universal Plug and Play の略。 パソコンや周辺機器、AV機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
USB	Universal Serial Busの略。 キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格の1つ。
VDSL	Very high-bit-rate Digital Subscriber LineまたはVery high-speed Digital Subscriber Lineの略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、利用者側は、すでに一般家庭に普及している電話回線を用意するだけでよいが、経路の一部に光ファイバを利用する。
VDSLモデム	コンピュータをVDSL回線に接続する際に必要になる信号変換機。加入電話回線を通じて送られてくるVDSL信号をEthernetの信号に変換したり、その逆を行い、VDSLモデムとコンピュータの間はEthernet LANで接続する。
VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
VPN	Virtual Private Network の略。 インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワークのこと。
WAN	Wide Area Networkの略。 地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続し、データをやり取りするネットワーク。

（次ページに続く）

Web ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer® がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザが指定した任意の文字列（WEP キー）を本商品と無線 LAN 端末に登録することによって、WEP キーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEP キー	WEP で用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録したうえで通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA2	Wi-Fi Protected Access2 の略。 WPA の新バージョンで、AES 暗号化に対応した WPA より強固な暗号化方法。
WPA-PSK/WPA2-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key/Wi-Fi Protected Access2 Pre-Shared Key の略。 WPA/WPA2 セキュリティ設定の認証方式の 1 つ。Pre-Shared Key を使うと、認証サーバを用意しなくても WPA/WPA2 セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK/WPA2-PSK には、AES や TKIP などの暗号化がある。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbps の伝送速度をもつ。
1000BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、1G bps（1000Mbps）の伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【あ行】

イーサネット（Ethernet）	LAN の通信方式。100BASE-TX、1000BASE-T などの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線 LAN 端末から無線 LAN アクセスポイントを経由して行う無線 LAN の通信。
エコー・キャンセラ	自分側の音声が通話相手側の音声入力機器に拾われて反響やハウリングが起きるのを防止する機能。

【か行】

用語	説明
回線終端装置	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。B フレッツでは ONU（Optical Network Unit）などを指す。
クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なる LAN 同士や LAN と WAN とを接続する装置。

【さ行】

用語	説明
サーバ	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上では Web サーバがホームページ情報を提供する。
サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IP アドレスは、所属するサブネットのアドレス(ネットワークアドレス)と、サブネット内での端末のアドレス(ホストアドレス)から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
自動設定	本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。
静的 IP マスカレード	IP マスカレード使用時に、LAN 側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

（次ページに続く）

【た行】

チャネル	無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線 LAN を狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨する。
ドメイン	「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。 パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。
ひかり電話	NTT 東日本／NTT 西日本提供の IP 電話サービス。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
ファイアウォール	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LAN とインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。
フレッツ・スクウェア	フレッツサービスをご利用のお客様専用のサイト。
フレッツ 光ネクストサービス情報サイト	NTT 東日本／NTT 西日本エリアでフレッツ 光ネクストをご利用のお客様専用のサイト。（2011 年 2 月現在）
プロキシサーバ	各装置から SIP プロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。
プロバイダ	インターネットの接続サービスを提供している事業者。
ポートセパレート	暗号化方式を WEP または暗号化なしで設定している無線 LAN 端末から、本商品の「Web 設定」へのアクセス並びに本商品の LAN 側に接続されている端末へのアクセスを制限する機能。
ポート番号	TCP/IP において、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

用語	説明
マルチセッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。
無線 LAN アクセスポイント	有線 LAN とインフラストラクチャ通信に設定した無線 LAN 端末との通信の中継や、無線 LAN 端末同士の通信の管理を行う。
無線ネットワーク名（SSID）	SSID は Service Set Identifier の略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名（SSID）を設定して使用する。

【ら行】

用語	説明
らくらく無線スタート	無線 LAN アクセスポイントとゲーム機との無線 LAN 設定を電話機やパソコン、らくらくスタートボタンから簡単に行うことができる機能。
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

8-8 索引

CD-ROM の付いている用語は「機能詳細ガイド」に記載されています。

［タ行］

［ナ行］

［ハ行］

［マ行］

（次ページに続く）

[ヤ行]

[ラ行]

[ワ行]

8-9 仕様一覧

■ PR-400KI

■ ハードウェア仕様		
項　目		仕　様
LAN ポート	インタフェース	1000BASE-T ／ 100BASE-TX (IEEE802.3ab ／ IEEE802.3u) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	4 ポート（スイッチングハブ内蔵）
拡張カードスロット	インタフェース	ExpressCard/34（PCI Express）準拠 ※オプションの無線 LAN カード SC-40NE 専用
	スロット数	1 スロット
電話機ポート	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	2 ポート
	供給電圧	約－ 48 V（無負荷時）
USB ポート	インタフェース	USB2.0
	コネクタ形状	Type A
	ポート数	2 ポート
ランプ表示	ルータ電源ランプ	電源通電時：緑点灯
	アラームランプ	装置障害時：赤点灯、 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定失敗時：赤点滅 10 秒間、 USB ポートの異常検出時：赤点滅 10 秒間
	PPP ランプ	1 セッション接続中：緑点灯、2 セッション以上接続中：橙点灯
	ひかり電話ランプ	ひかり電話利用可能時：緑点灯、 ひかり電話通話中／着信中／呼び出し中：緑点滅
	ACT ランプ	ひかり電話機能／ルータ機能利用可能時：緑点灯、 ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中：緑点滅
	登録ランプ	ひかり電話設定完了時：緑点灯、 ひかり電話設定中：緑点滅、ひかり電話設定失敗時：赤点灯／赤点滅 「無線LAN 簡単セットアップ」設定中：緑点滅／橙点滅、 「無線LAN 簡単セットアップ」設定完了時：橙点灯
	初期状態ランプ	工場出荷状態：橙点灯、IP アドレス重複時：橙点滅
	オプションランプ	USB 機器接続時：青点滅（3 回点滅後 2 秒点灯）
	認証ランプ	認証状態：緑点灯
	UNI ランプ	内蔵の ONU 機能利用可能時：緑点灯 内蔵の ONU 機能でデータ通信中：緑点滅
	光回線ランプ	正常状態：緑点灯 装置運用準備中または装置故障：橙点灯 ONU 機能のファームウェアのダウンロード中：橙点滅
	電源ランプ	電源通電時：緑点灯 装置故障時：赤点灯 ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態：赤点滅
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
	らくらくスタート	無線 LAN 簡単セットアップ用など
	再起動	本装置を再起動

（次ページに続く）

■ ハードウェア仕様

項　目		仕　様
筐体外観		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0～40 ℃　湿度：20～80 %　（結露しないこと）
外形寸法	GE-ONU一体型	約45（W）× 171（D）× 238（H）mm（突起部分を除く）
	GV-ONU一体型	約45（W）× 171（D）× 238（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100 ± 10V　50/60 Hz
消費電力	GE-ONU一体型	最大22W以下（電源アダプタを含む）
	GV-ONU一体型	最大26W以下（電源アダプタを含む）
質量	GE-ONU一体型	約610g（電源アダプタ、無線カード含まず）
	GV-ONU一体型	約840g（電源アダプタ、無線カード含まず）
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）
	PPP認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP固定／PAP固定
	PPP接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断）
	接続先数	登録：5箇所、同時接続：5箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大150経路）
	DHCPサーバ機能	あり（最大253アドレス割当）
	DNS Proxy機能	あり（LAN側DNSサーバ指定可）
	NAT機能	IPマスカレード：最大4096セッション　静的NAT：最大64アドレス
	静的IPマスカレード機能	あり（ポート番号の範囲指定可）
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり
	簡易DMZホスト機能	あり（LAN側IPアドレス指定による）
	複数固定IPサービス対応（Unnumbered）機能	あり
	IPフィルタ機能	方針、プロトコル種別、入力インタフェース、出力インタフェース、IPバージョン、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、送信先ポート指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）、不正アクセス検出機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoEパケット、IPv6パケット（Bフレッツをご利用の場合のみ）
VoIP機能	接続手順	SIP
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ-law
	エコー・キャンセラ	ITU-T G.168
Webブラウザ、電話機による設定・保守	設定方法	Webブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN側IPアドレス、バージョン情報他
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ルータ機能のソフトウェアバージョンアップ機能	Webブラウザを使用、電話機を使用

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様		
無線 LAN 機能（拡張カードスロットに無線 LAN カード（SC-40NE）を装着した場合）	規格	IEEE802.11b	IEEE802.11g	IEEE802.11n
	周波数帯域	2.4GHz 帯（2400-2484MHz）		
	チャネル	1 ～ 13ch		
	伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
	伝送速度※ 1	11/5.5/2/1Mbps（自動切換）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動切換）	[HT20] 144.4/130/117/104/78/72.2/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps [HT40] 300/270/243/216/162/150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps（自動切換）
	アンテナ	送信 2 ×受信 2（内蔵アンテナ）		
	セキュリティ	無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）		

※ 1　無線 LAN の規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：
［NTT東日本］http://web116.jp/ced/
［NTT西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品を利用した基本的なインターネット接続設定について
フレッツ光を新規にお申し込みいただいた際にお送りしております「設定用CD-ROM」のご利用により、本商品の基本的なインターネット接続設定が簡単に実施可能です。
ご利用には「設定用CD-ROM」が添付された冊子「超カンタン設定ガイド」をご覧いただくか、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：**0120-275466**（10:00～18:00　年中無休）
※携帯電話からご利用の場合
0570-064074（通話料金がかかります）
※PHS・050IP電話からはご利用いただけません。

●本商品の詳細なお取り扱いに関するお問い合わせ（9:00～17:00）
お問い合わせ先：**0120-970413**
※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
03-5667-7100（通話料金がかかります）
※年末年始（12月29日～1月3日）は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ（24時間　年中無休※）
お問い合わせ先：**0120-242751**
※携帯電話・PHSからもご利用可能です。
※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱い、および故障に関するお問い合わせ
お問い合わせ先：**0120-248995**
※携帯電話・PHSからもご利用可能です。

受付時間
・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：9:00～17:00
※年末年始（12月29日～1月3日）は休業とさせていただきます。
・故障に関するお問い合わせ：24時間　年中無休
※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

お問い合わせ時には、フレッツ光を新規にお申込みいただいた際にお送りしております「開通のご案内」をご用意ください。
また、インターネット接続の設定をしている場合は、ご契約のプロバイダ資料についてもご用意ください。
なお、電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本3155-1 (2011.2)
PR-400KIトリセツ
3PP1158-6200P003 Rev. 1.3